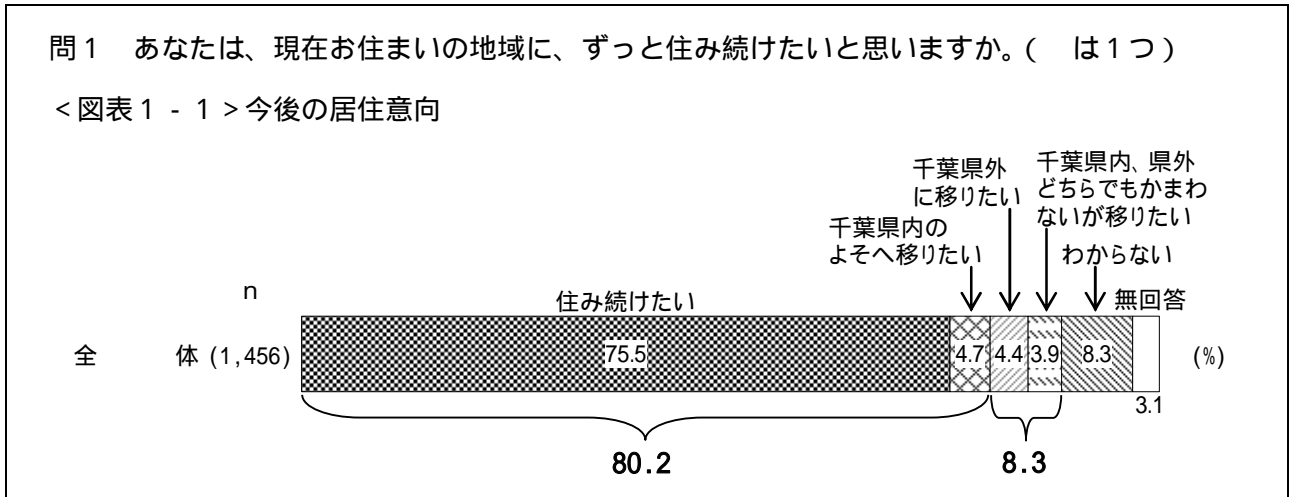


# 調査の結果 調査結果の解説

## 1 環境と生活について

### (1) 今後の居留意向

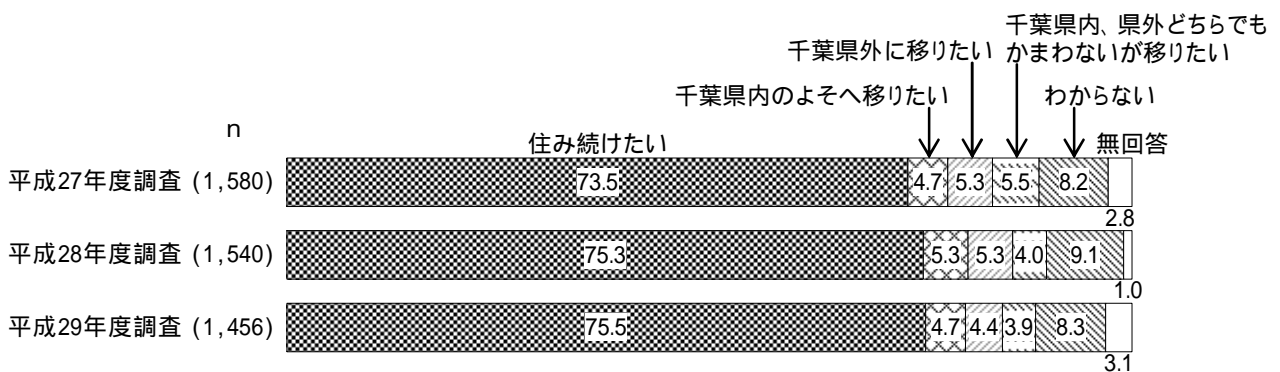
「住み続けたい」が7割台半ば



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(75.5%)が7割台半ばで、これと「千葉県内のよそへ移りたい」(4.7%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい(計)』(80.2%)が8割で高くなっている。

一方、「千葉県外に移りたい」(4.4%)と「千葉県内、県外どちらでもかまわれないが移りたい」(3.9%)を合わせた『移りたい(計)』(8.3%)は約1割である。(図表1 - 1)

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



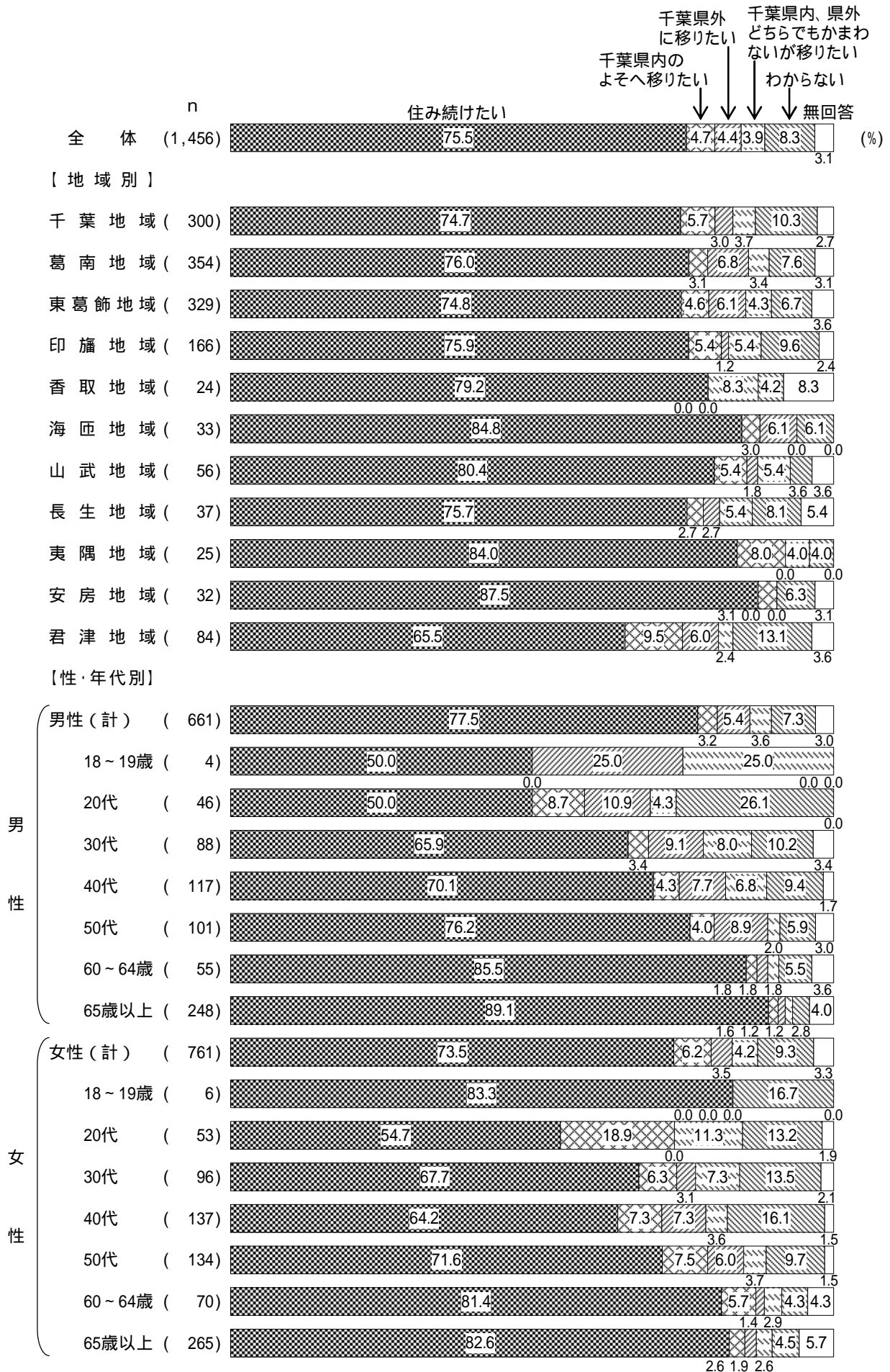
#### 【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“安房地域”(87.5%)が約9割、“海匝地域”(84.8%)と“夷隅地域”(84.0%)が8割台半ばで高くなっている。(図表1 - 2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の60～64歳(85.5%)、65歳以上(89.1%)と女性の60～64歳(81.4%)、65歳以上(82.6%)が8割台で高くなっている。(図表1 - 2)

<図表1 - 2> 今後の居留意向 / 地域別、性・年代別

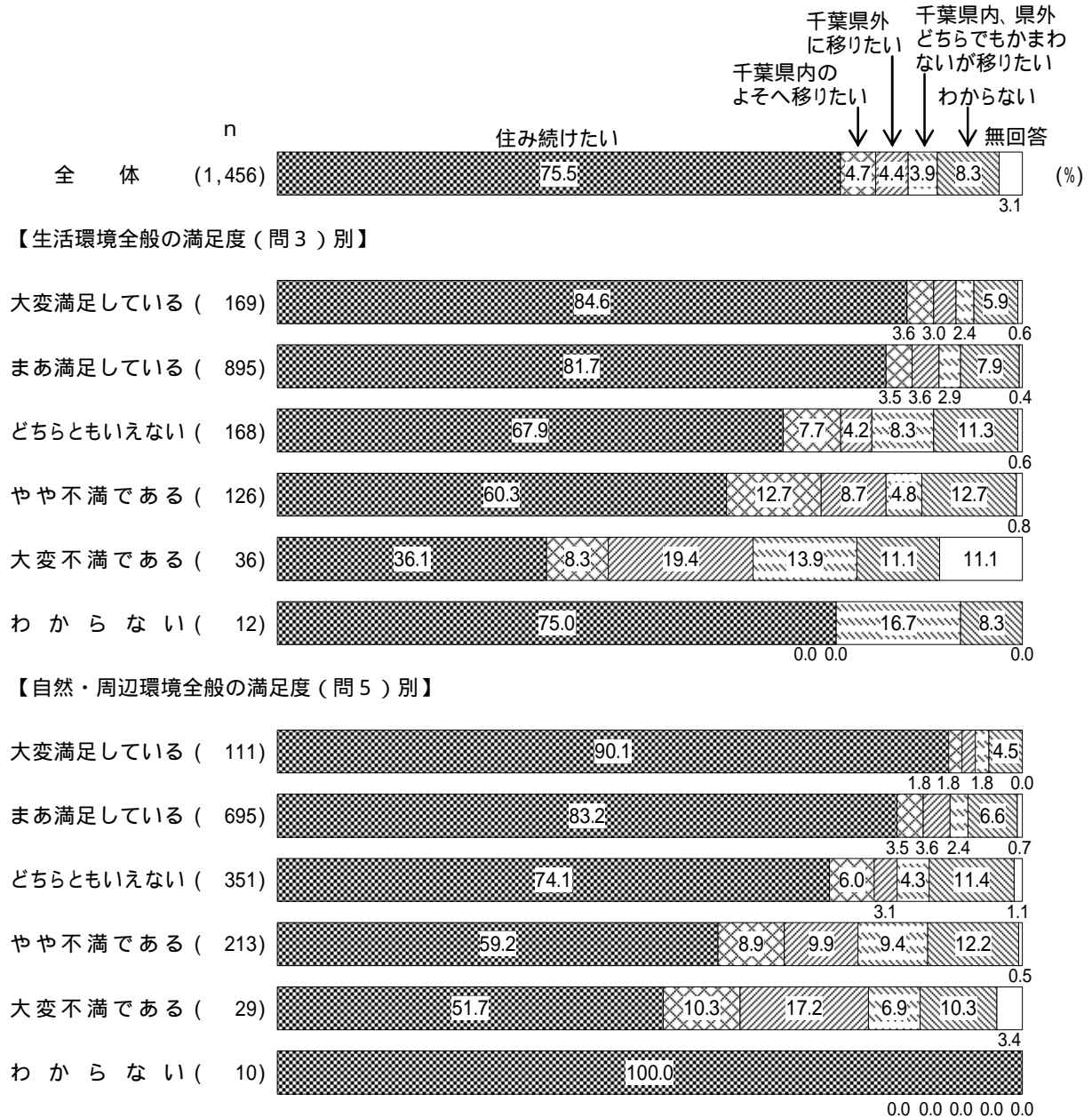


< 今後の居留意向と各環境の満足度 >

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。

( 図表 1 - 3 )

< 図表 1 - 3 > 今後の居留意向と各環境の満足度



## （1 - 1）住み続けたい理由

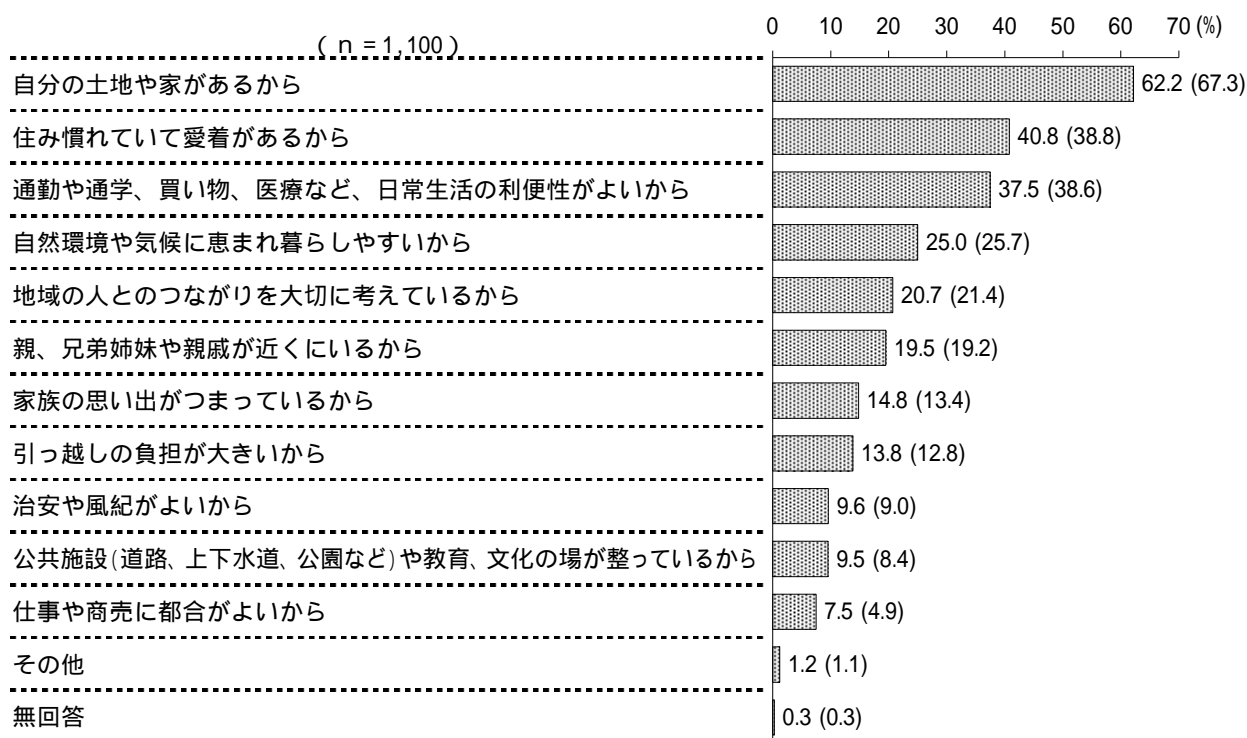
「自分の土地や家があるから」が6割を超える

（問1で「住み続けたい」とお答えの方に）

問1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

（は3つまで）

<図表1 - 4> 住み続けたい理由（3つまでの複数回答）



注) ( ) の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果 n = 1,159

「住み続けたい」と回答した1,100人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(62.2%)が6割を超えて最も高く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(40.8%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(37.5%)が続く。(図表1 - 4)

### 【地域別】

地域別にみると、「住み慣れていて愛着があるから」は“君津地域”(58.2%)が約6割で高くなっている。

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(53.2%)が5割を超え、“千葉地域”(46.9%)が4割台半ばで高くなっている。

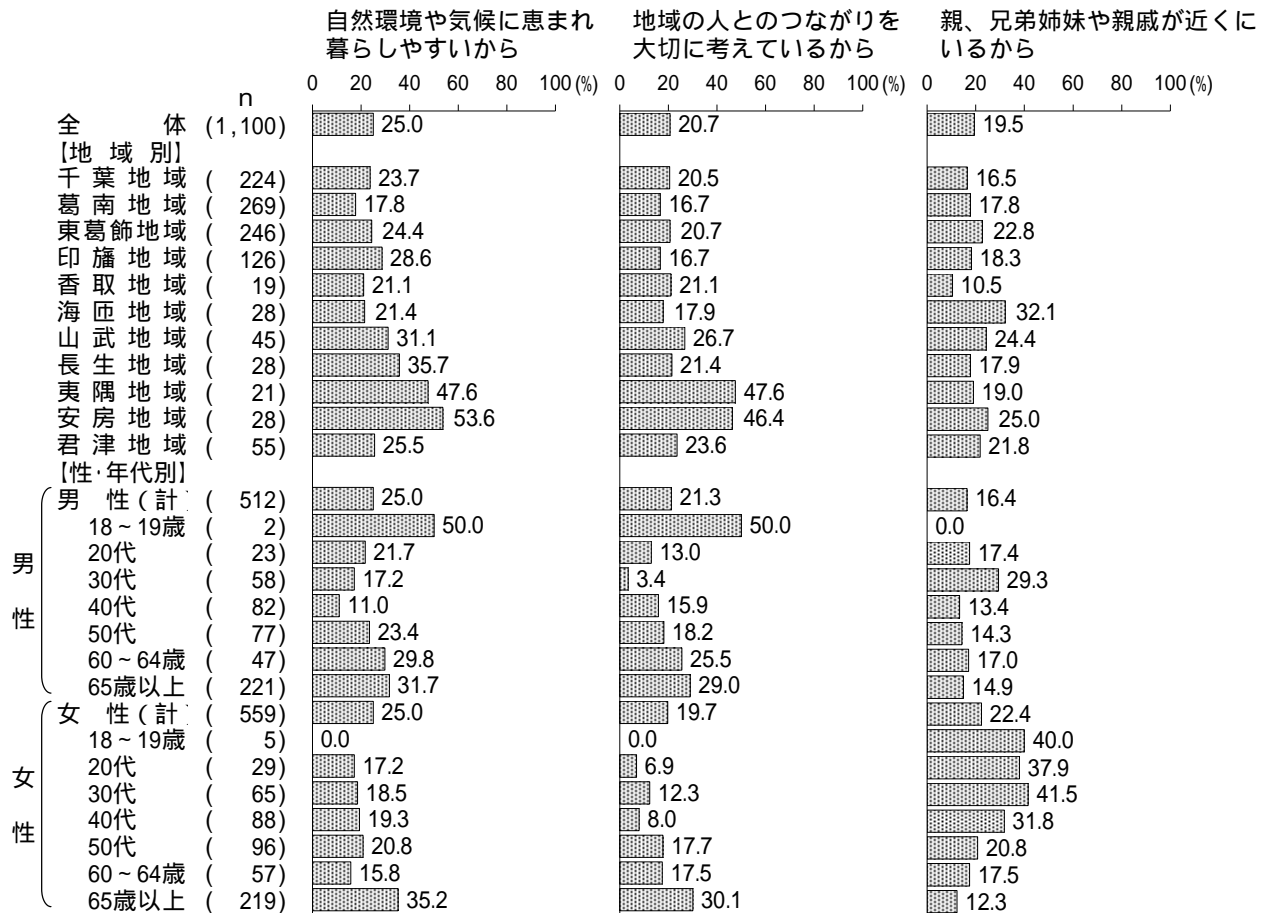
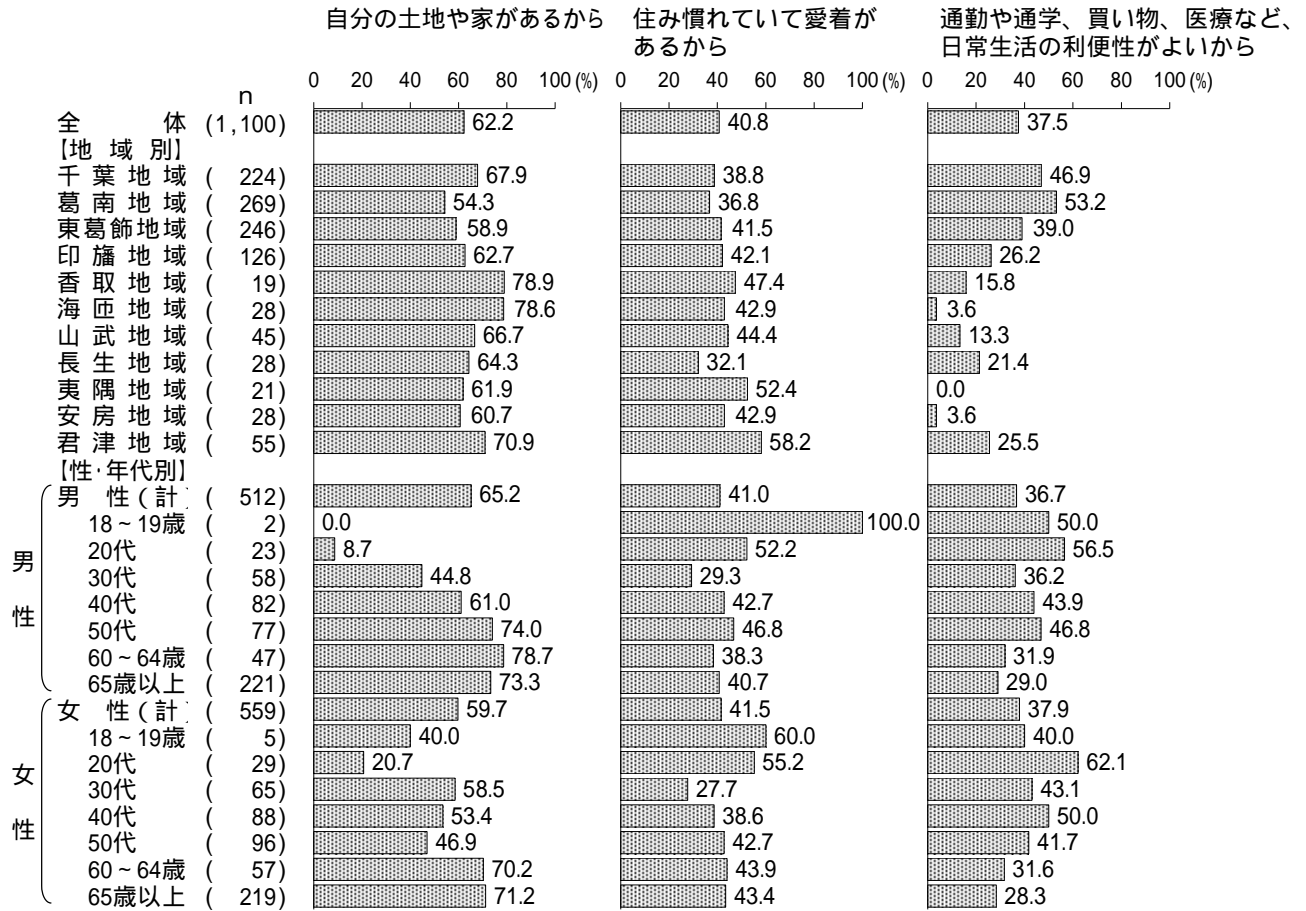
「自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから」は“安房地域”(53.6%)が5割台半ば、“夷隅地域”(47.6%)が約5割で高くなっている。(図表1 - 5)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の60～64歳(78.7%)が約8割、男性の50代(74.0%)が7割台半ばで高くなっている。

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は女性の20代(62.1%)が6割を超えて高くなっている。(図表1 - 5)

<図表1 - 5> 住み続けたい理由（3つまでの複数回答）/地域別、性・年代別（上位6項目）



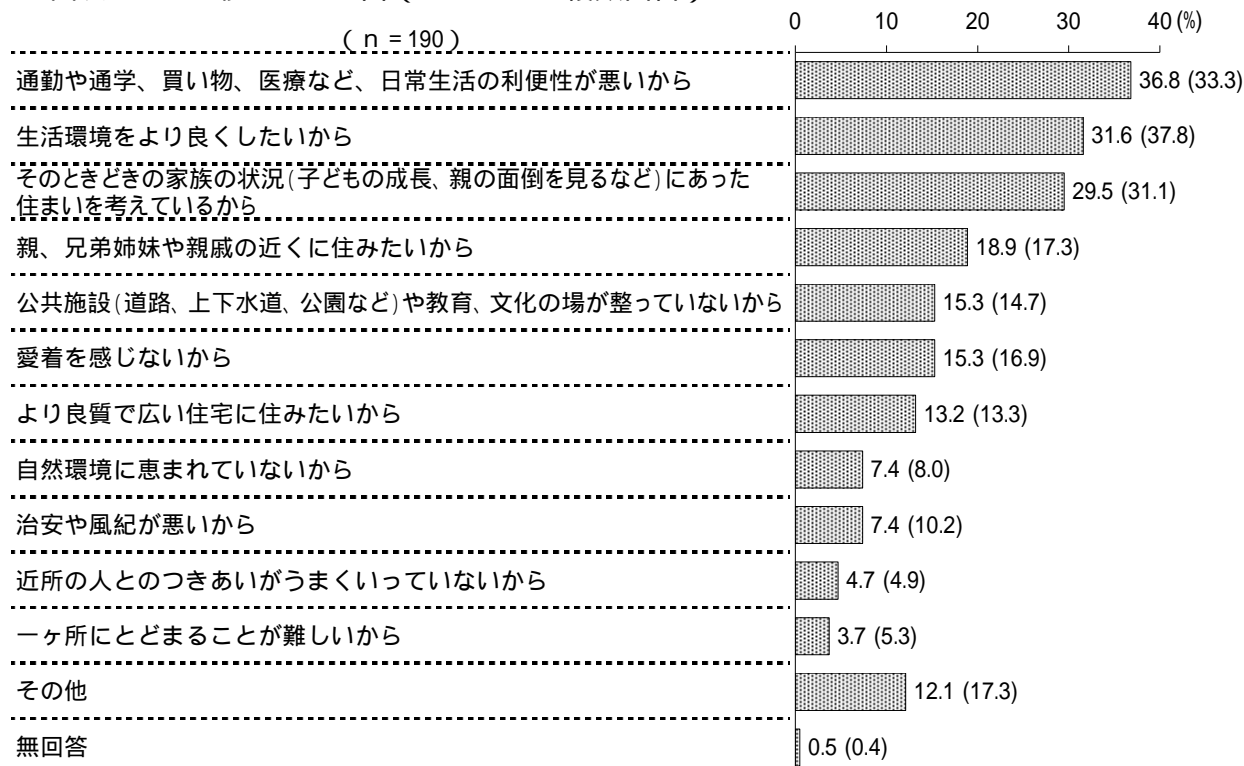
## （1 - 2）移りたい理由

「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」が3割台半ば

（問1で「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に）

問1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。（は3つまで）

<図表1 - 6> 移りたい理由（3つまでの複数回答）

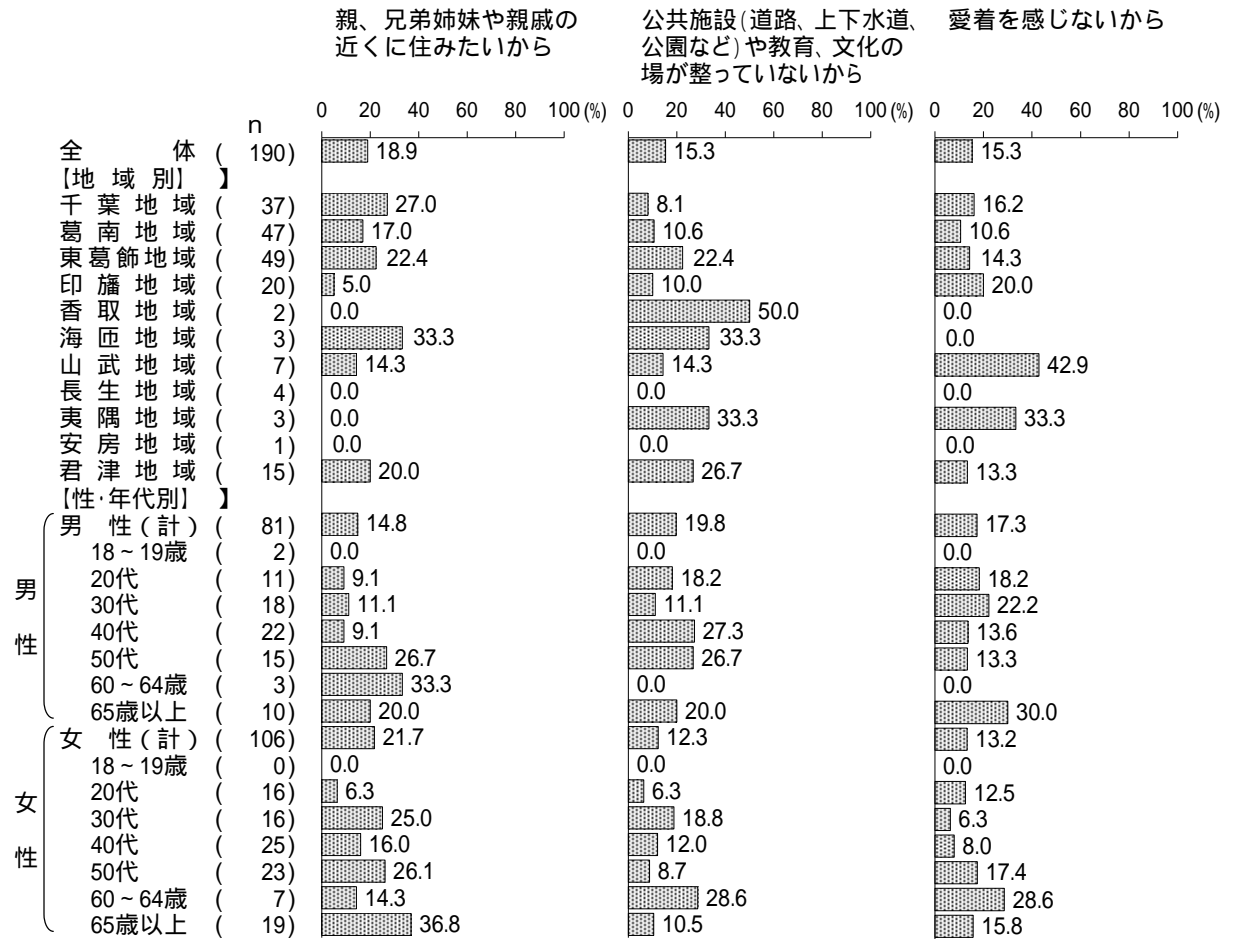
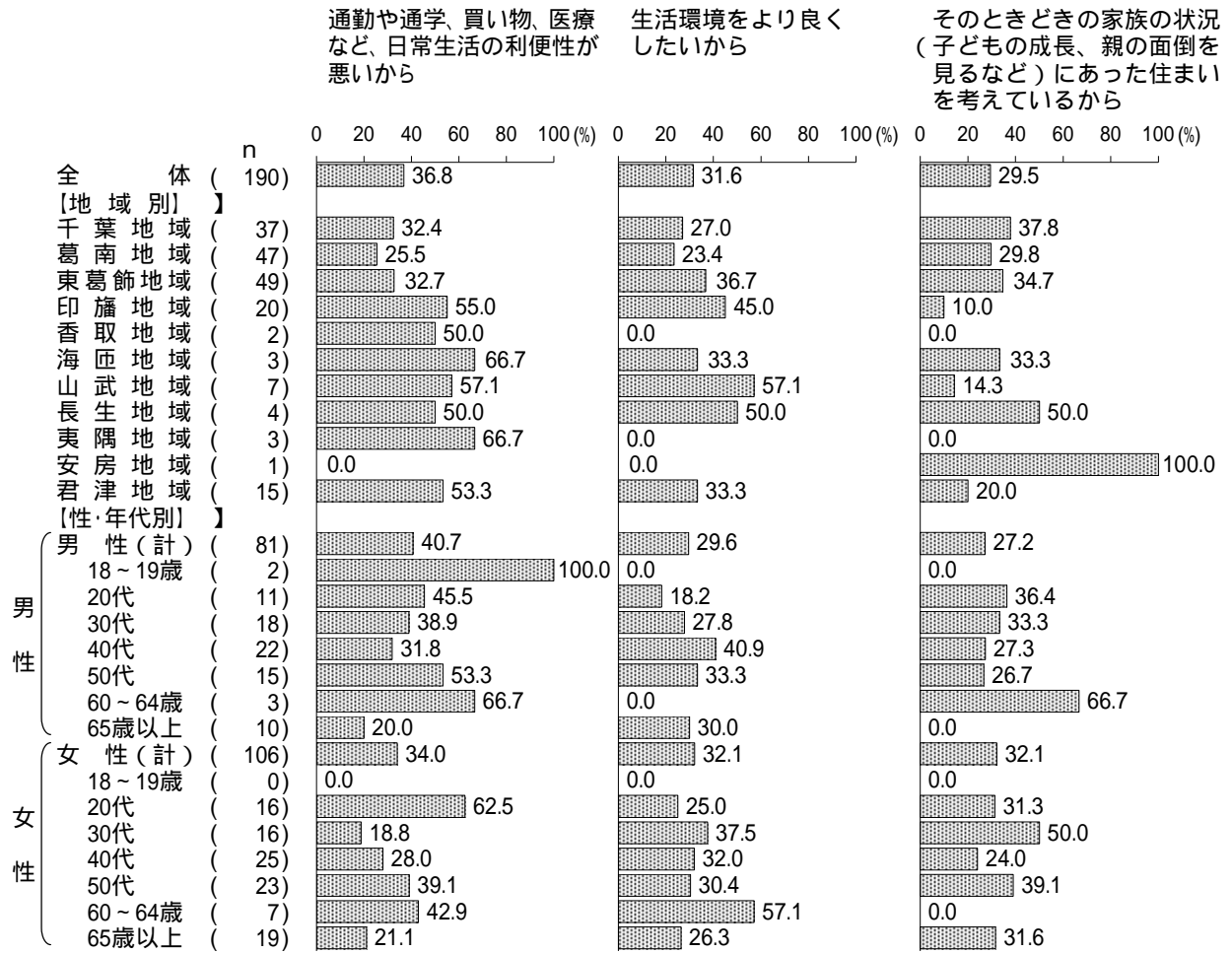


注) ( ) の数字は平成28年度の同様の項目による調査結果 n = 225

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した190人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(36.8%)が3割台半ばで最も高く、以下、「生活環境をより良くしたいから」(31.6%)、「そのときどきの家族の状況にあった住まいを考えているから」(29.5%)が続く。(図表1 - 6)

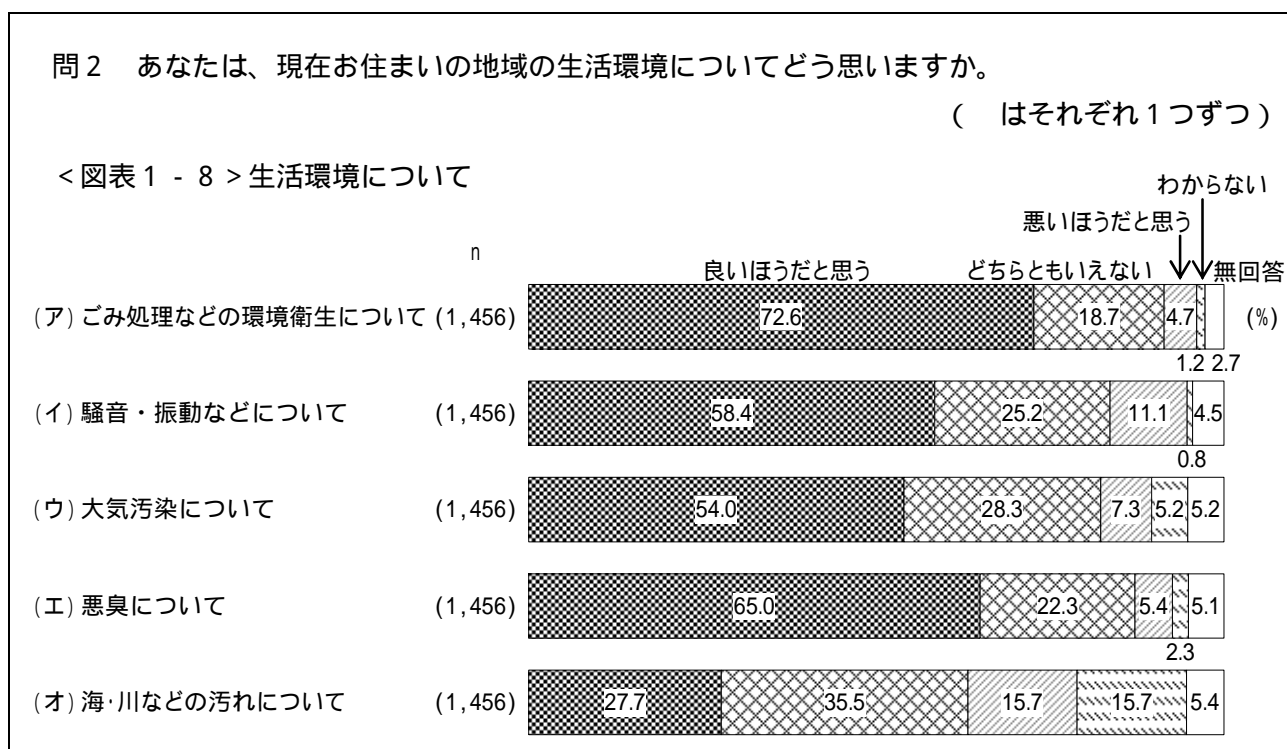
サンプル数が少ない(有意差がない)ため、【地域別】と【性・年代別】における属性の分析は触れていない。(10ページ「報告書の見方(5)」を参照)

<図表1 - 7> 移りたい理由（3つまでの複数回答） / 地域別、性・年代別（上位6項目）



## （２）生活環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは ごみ処理などの環境衛生について で7割を超える



生活環境に関する5つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは「(ア) ごみ処理などの環境衛生について」(72.6%)が7割を超えており、以下、「(エ) 悪臭について」(65.0%)が6割台半ば、「(イ) 騒音・振動などについて」(58.4%)が約6割で続く。

一方、「悪いほうだと思う」は、「(オ) 海・川などの汚れについて」(15.7%)が1割台半ば、「(イ) 騒音・振動などについて」(11.1%)が1割を超えている。(図表1-8)

### 【地域別】

地域別にみると、「(イ) 騒音・振動などについて」の「良いほうだと思う」は“夷隅地域”(88.0%)が約9割、“安房地域”(78.1%)が約8割で高くなっている。

「(ウ) 大気汚染について」の「良いほうだと思う」は“安房地域”(81.3%)が8割を超え、“夷隅地域”(76.0%)が7割台半ばで高くなっている。

「(オ) 海・川などの汚れについて」の「良いほうだと思う」は“夷隅地域”(60.0%)が6割で高くなっている。(図表1-9)

### 【性・年代別】

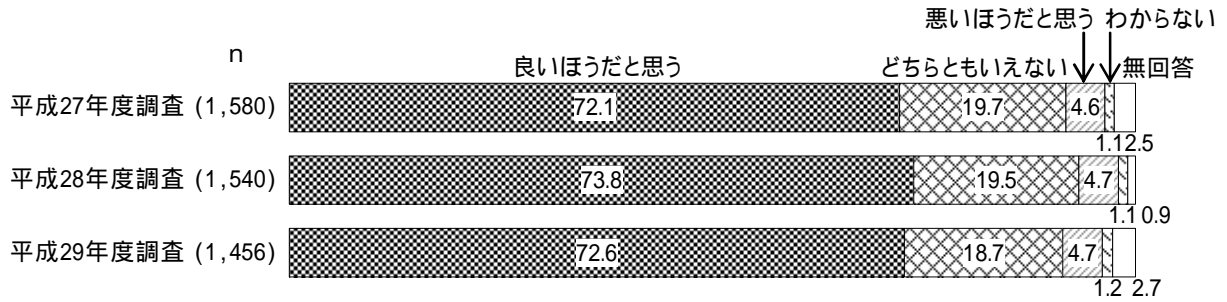
性・年代別にみると、「(ウ) 大気汚染について」の「良いほうだと思う」は女性の60～64歳(70.0%)が7割で高くなっている。

「(エ) 悪臭について」の「良いほうだと思う」は女性の60～64歳(78.6%)が約8割で高くなっている。(図表1-9)

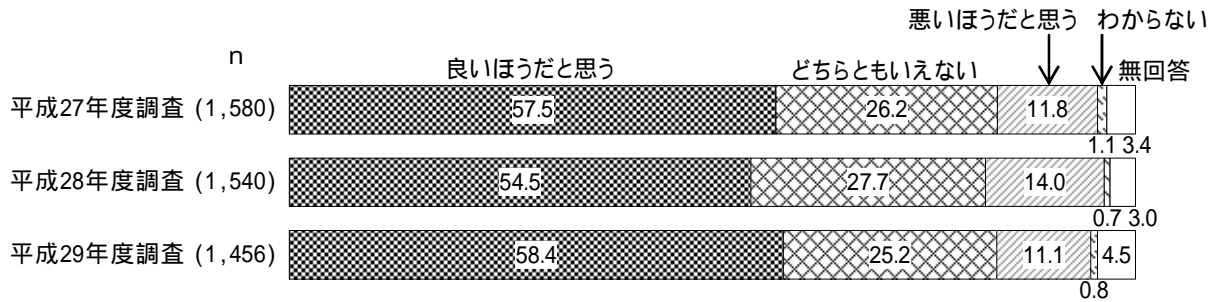


〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

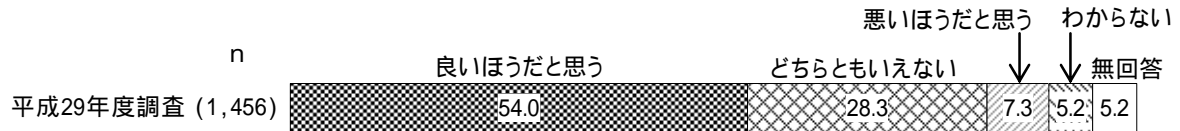
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



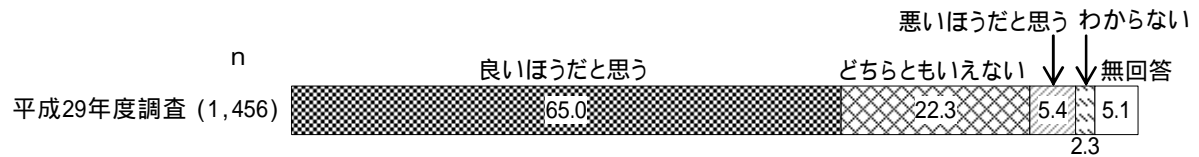
（イ）騒音・振動などについて



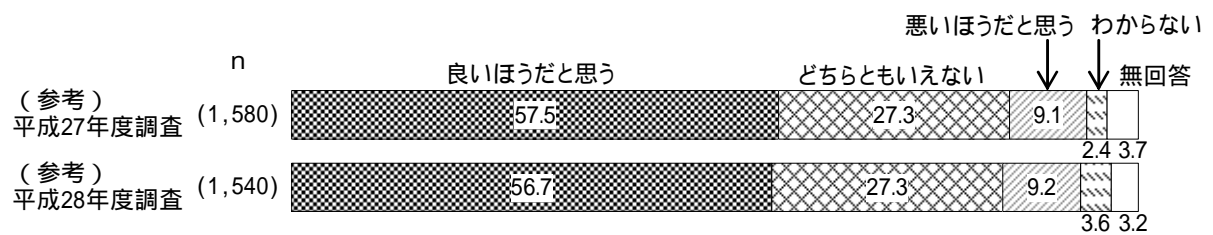
（ウ）大気汚染について



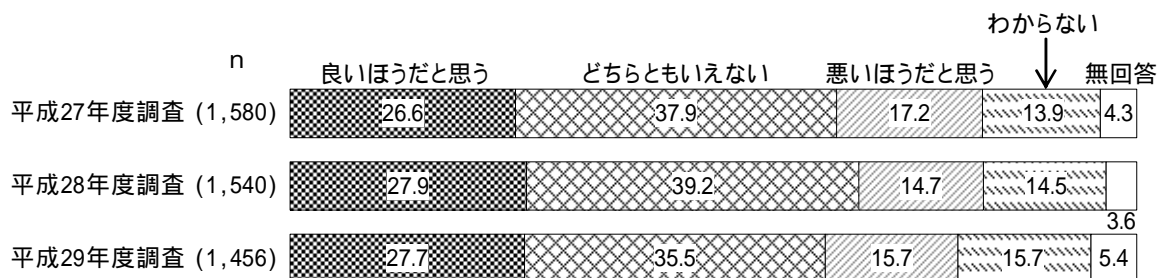
（エ）悪臭について



（参考）大気汚染・悪臭などについて

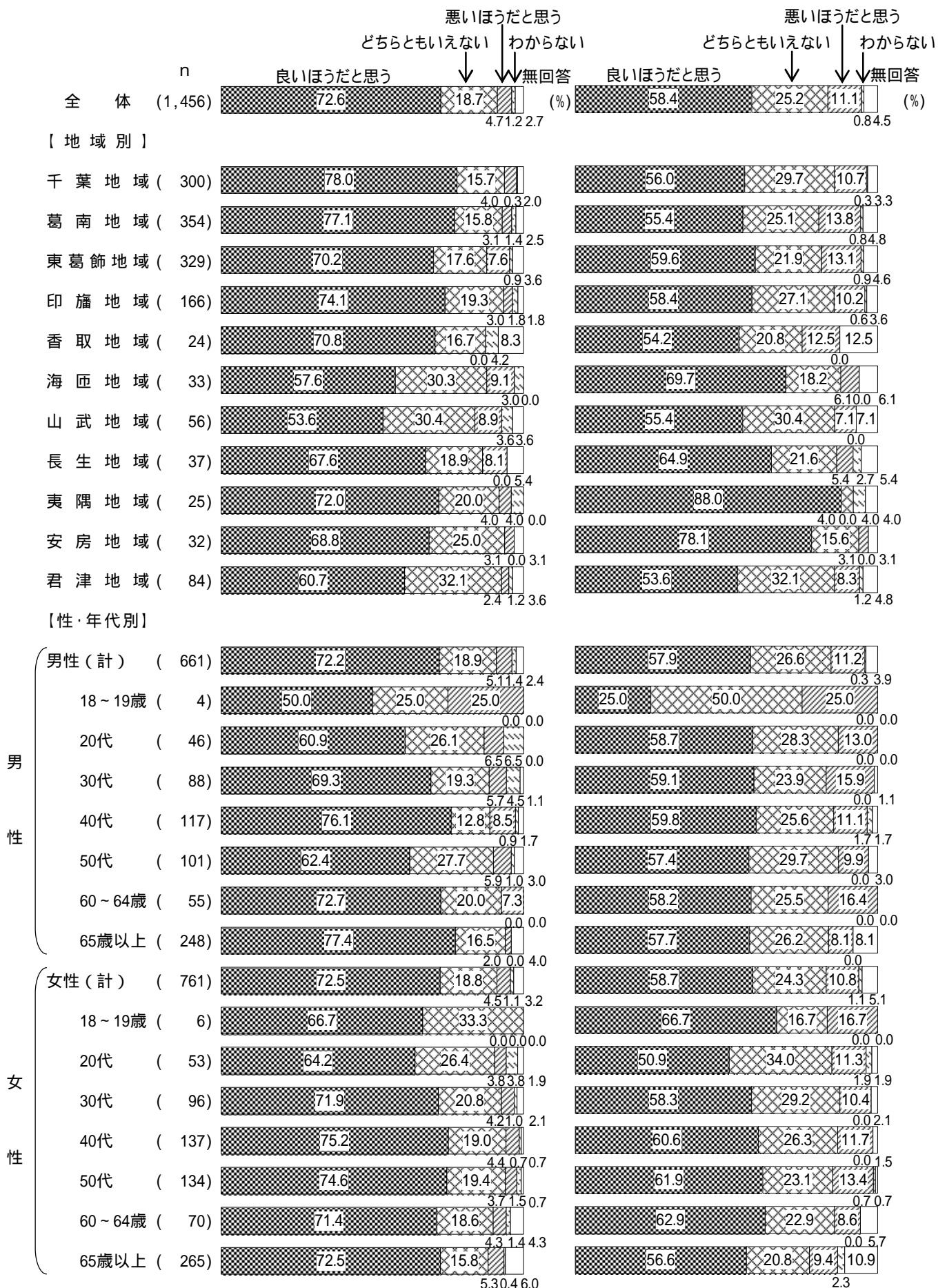


（オ）海・川などの汚れについて



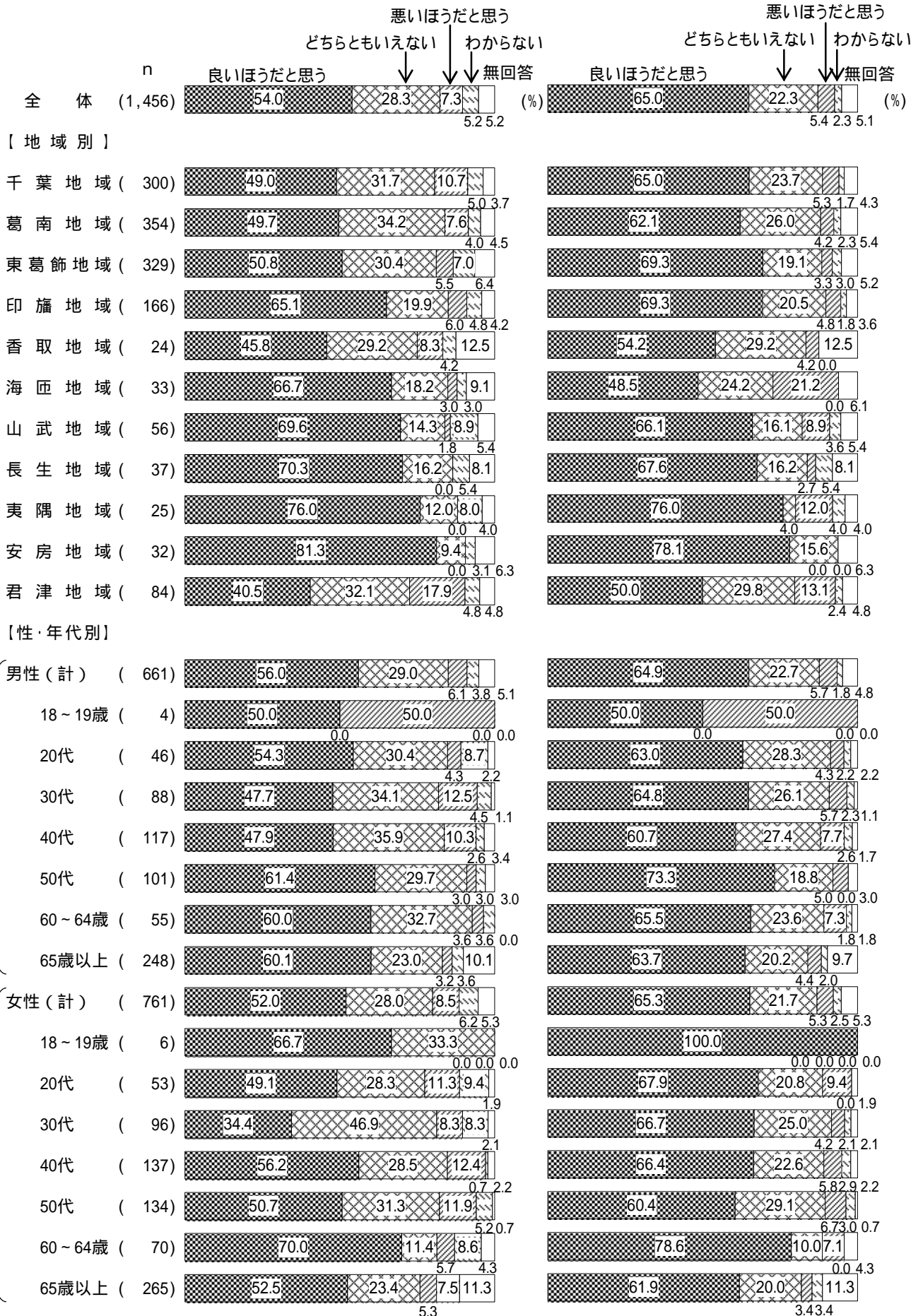
<図表1 - 9> 生活環境について / 地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて

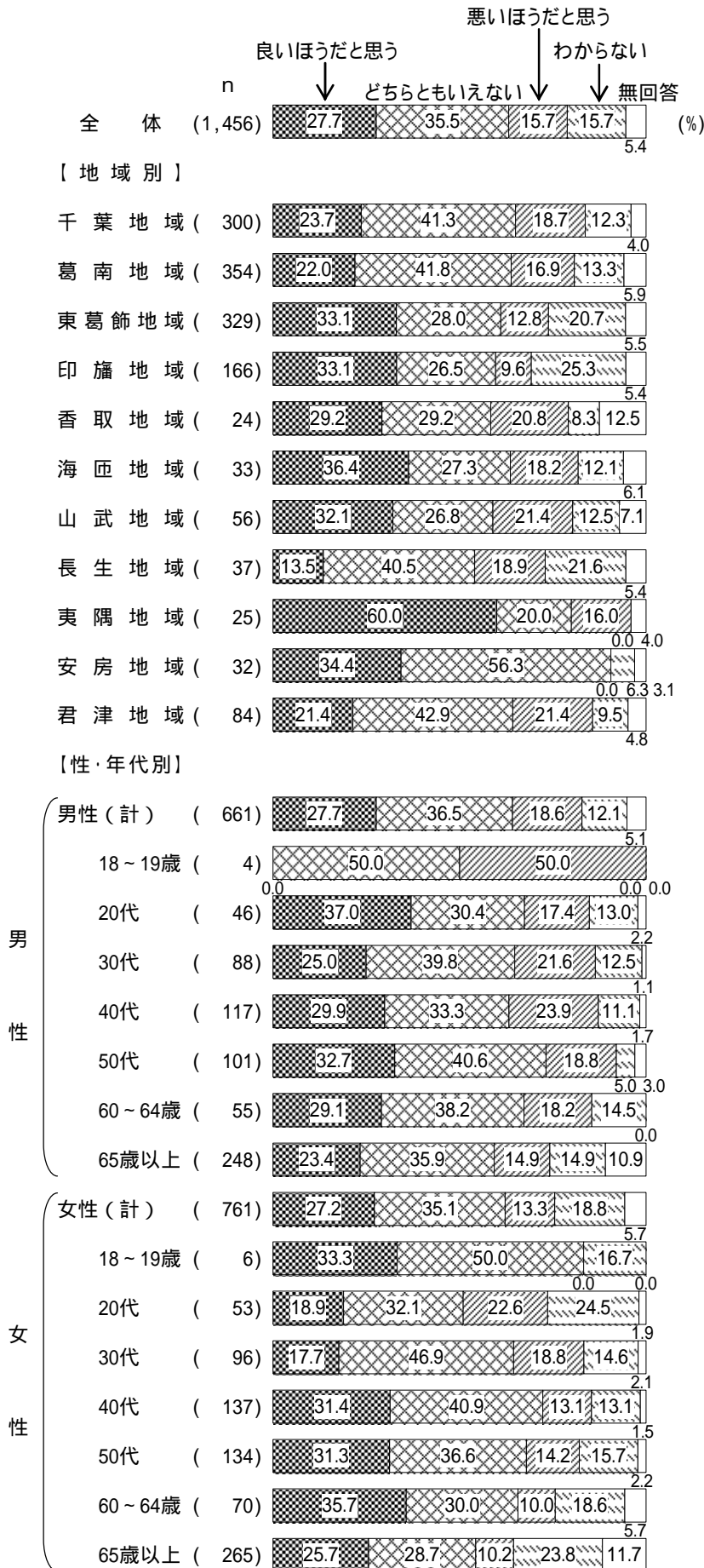


(ウ) 大気汚染について

(エ) 悪臭について

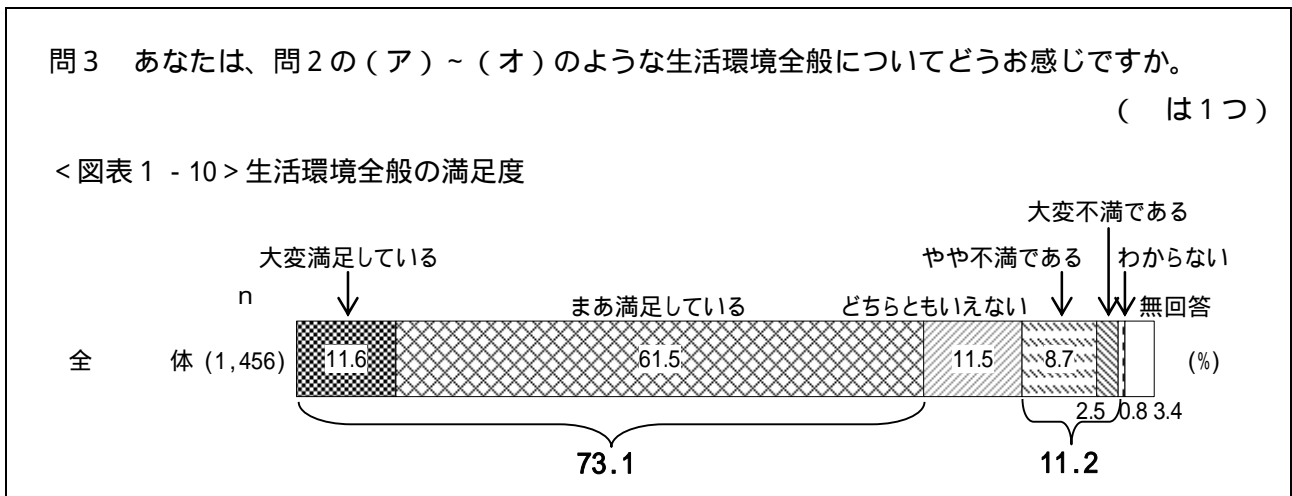


(オ) 海・川などの汚れについて



### （3）生活環境全般の満足度

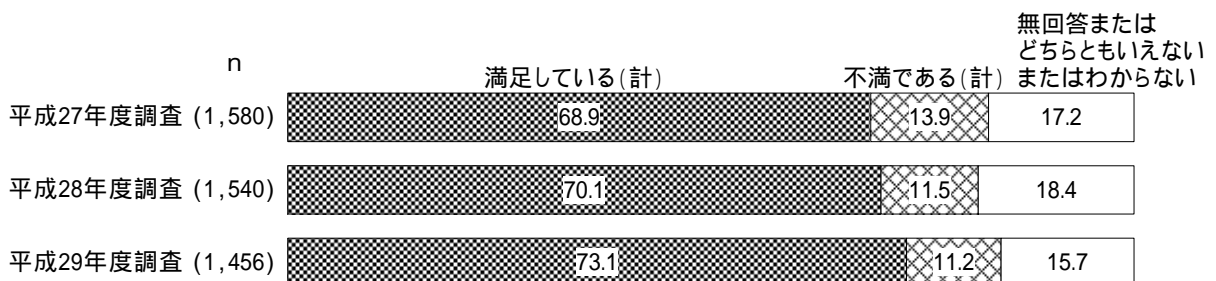
『満足している（計）』が7割を超える



生活環境全般に関する5つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(11.6%)と「まあ満足している」(61.5%)を合わせた『満足している(計)』(73.1%)が7割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満である」(8.7%)と「大変不満である」(2.5%)を合わせた『不満である(計)』(11.2%)は1割を超えている。(図表1-10)

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



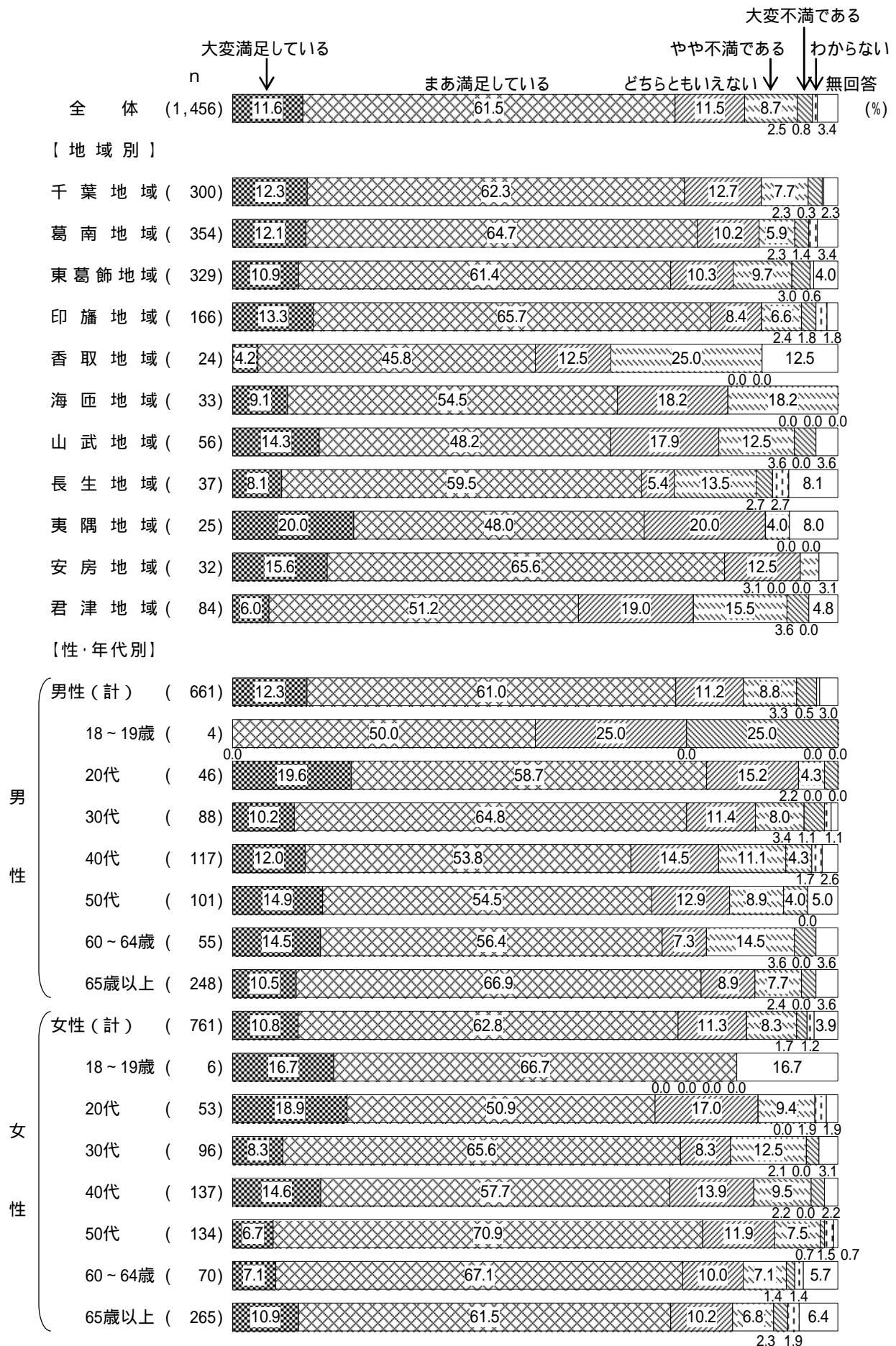
#### 【地域別】

地域別にみると、『不満である(計)』は“香取地域”(25.0%)が2割台半ば、“君津地域”(19.1%)が約2割で高くなっている。(図表1-11)

#### 【性・年代別】

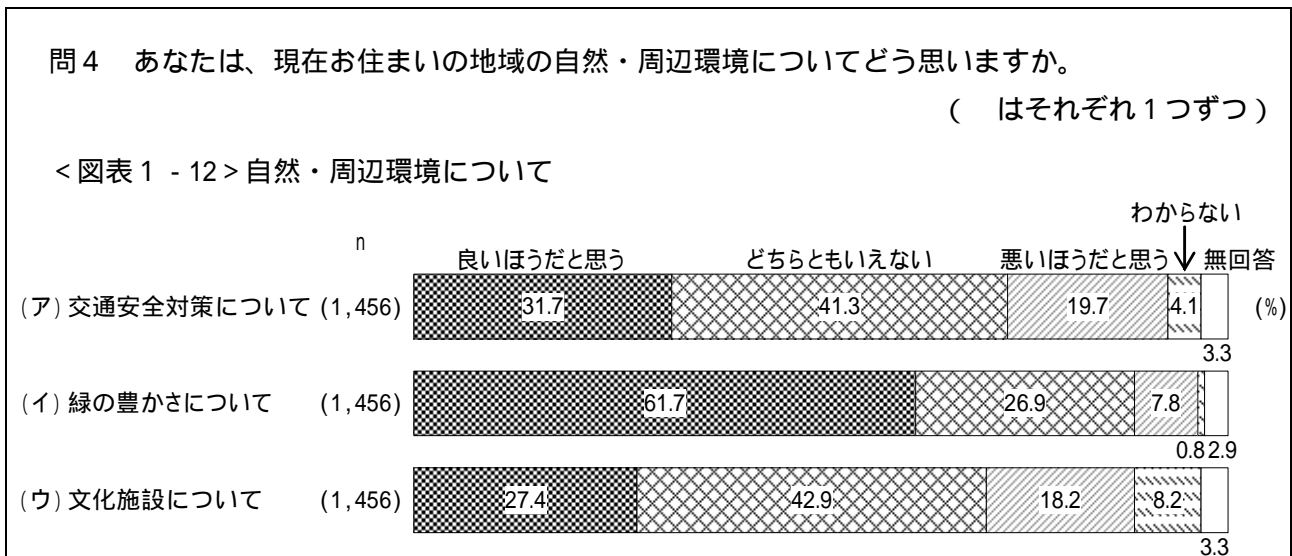
性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表1-11)

<図表1 - 11> 生活環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



## （４）自然・周辺環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて で6割を超える



自然・周辺環境に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは「(イ)緑の豊かさについて」(61.7%)が6割を超えており、以下、「(ア)交通安全対策について」(31.7%)が3割を超え、「(ウ)文化施設について」(27.4%)が約3割で続く。

### 【地域別】

地域別にみると、「(イ)緑の豊かさについて」の「良いほうだと思う」は“安房地域”(87.5%)が約9割、“夷隅地域”(84.0%)が8割台半ば、“長生地域”(81.1%)が8割を超えて高くなっている。

「(ウ)文化施設について」の「良いほうだと思う」は“葛南地域”(33.6%)が3割台半ば、“印旛地域”(31.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表1 - 13)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)交通安全対策について」の「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(41.9%)が4割を超えて高くなっている。

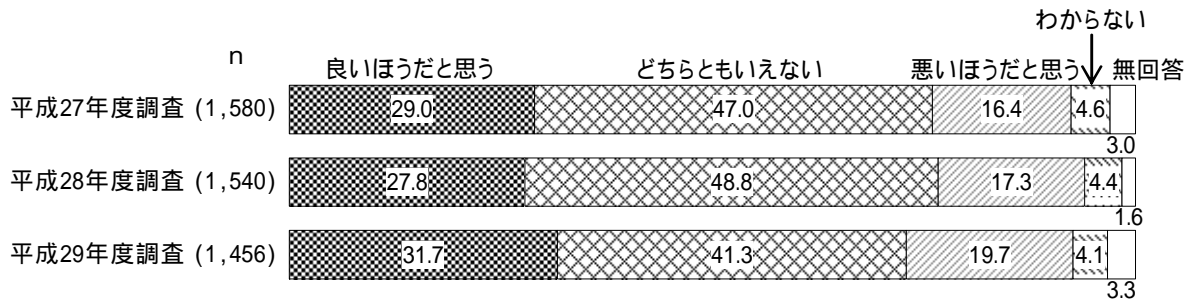
一方、「悪いほうだと思う」は男性の30代(34.1%)が3割台半ば、女性の30代(33.3%)が3割を超えて高くなっている。

「(イ)緑の豊かさについて」の「良いほうだと思う」は男性の20代(73.9%)が7割台半ば、女性の50代(70.1%)が7割で高くなっている。(図表1 - 13)

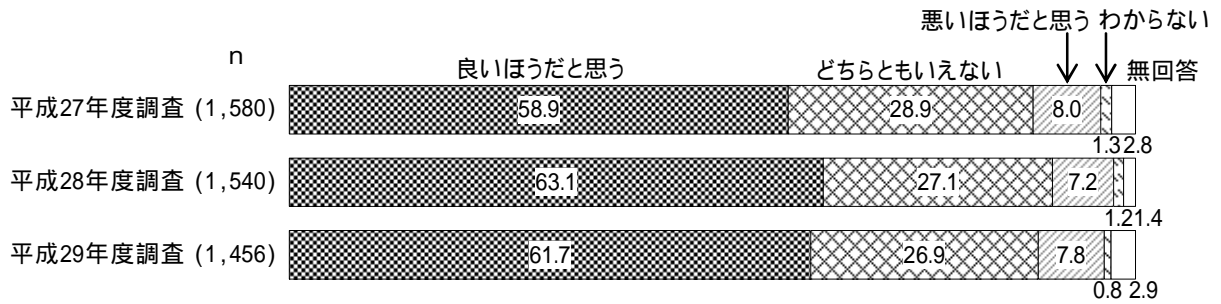
第54回県政に関する世論調査（H29年度）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

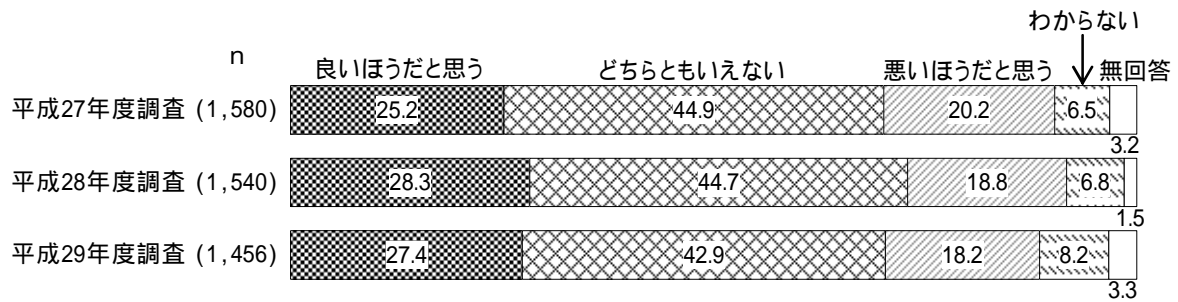
（ア）交通安全対策について



（イ）緑の豊かさについて



（ウ）文化施設について

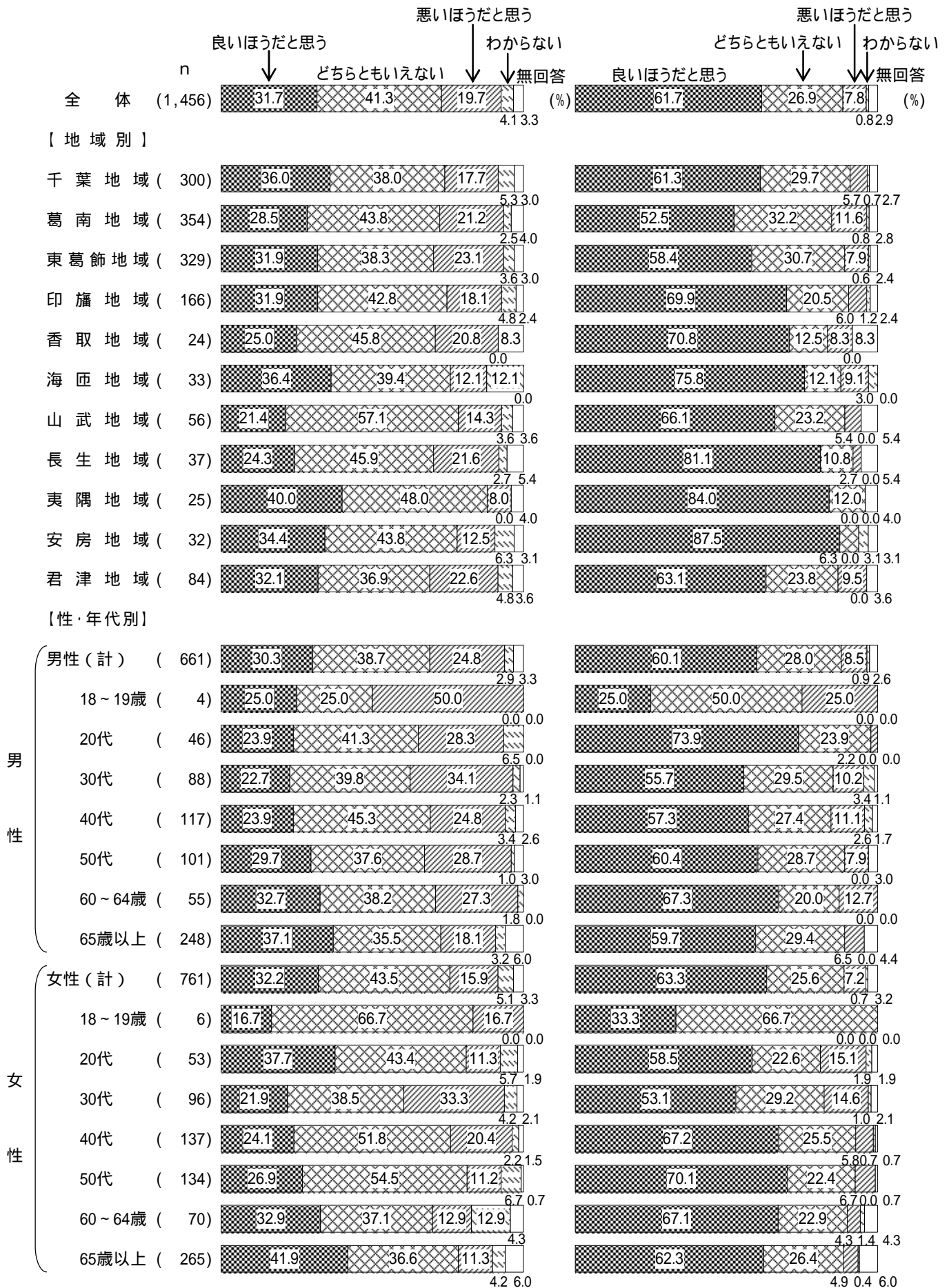




<図表1 - 13> 自然・周辺環境について / 地域別、性・年代別

(ア) 交通安全対策について

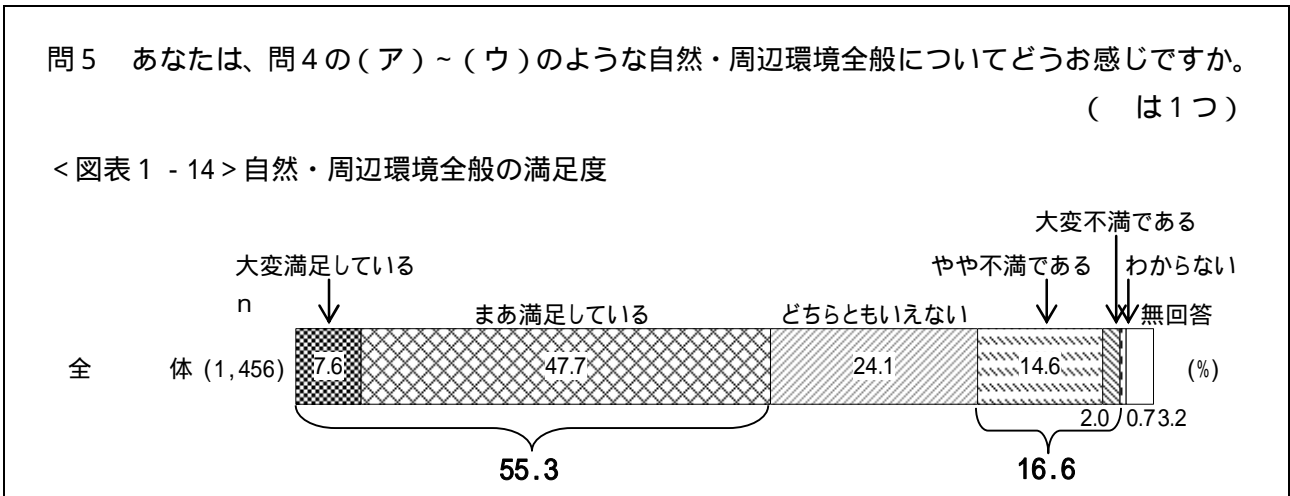
(イ) 緑の豊かさについて





（5）自然・周辺環境全般の満足度

『満足している（計）』が5割台半ば



自然・周辺環境に関する3つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(7.6%)と「まあ満足している」(47.7%)を合わせた『満足している(計)』(55.3%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、「やや不満である」(14.6%)と「大変不満である」(2.0%)を合わせた『不満である(計)』(16.6%)は1割台半ばとなっている。(図表1 - 14)

〔参考〕平成27年度・平成28年度調査の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

n	満足している(計)	不満である(計)	無回答またはどちらともいえないまたはわからない
平成27年度調査 (1,580)	50.9	18.2	30.9
平成28年度調査 (1,540)	55.2	17.1	27.7
平成29年度調査 (1,456)	55.3	16.6	28.0

【地域別】

地域別にみると、『満足している(計)』は“千葉地域”(61.0%)が6割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“君津地域”(28.6%)が約3割で高くなっている。(図表1 - 15)

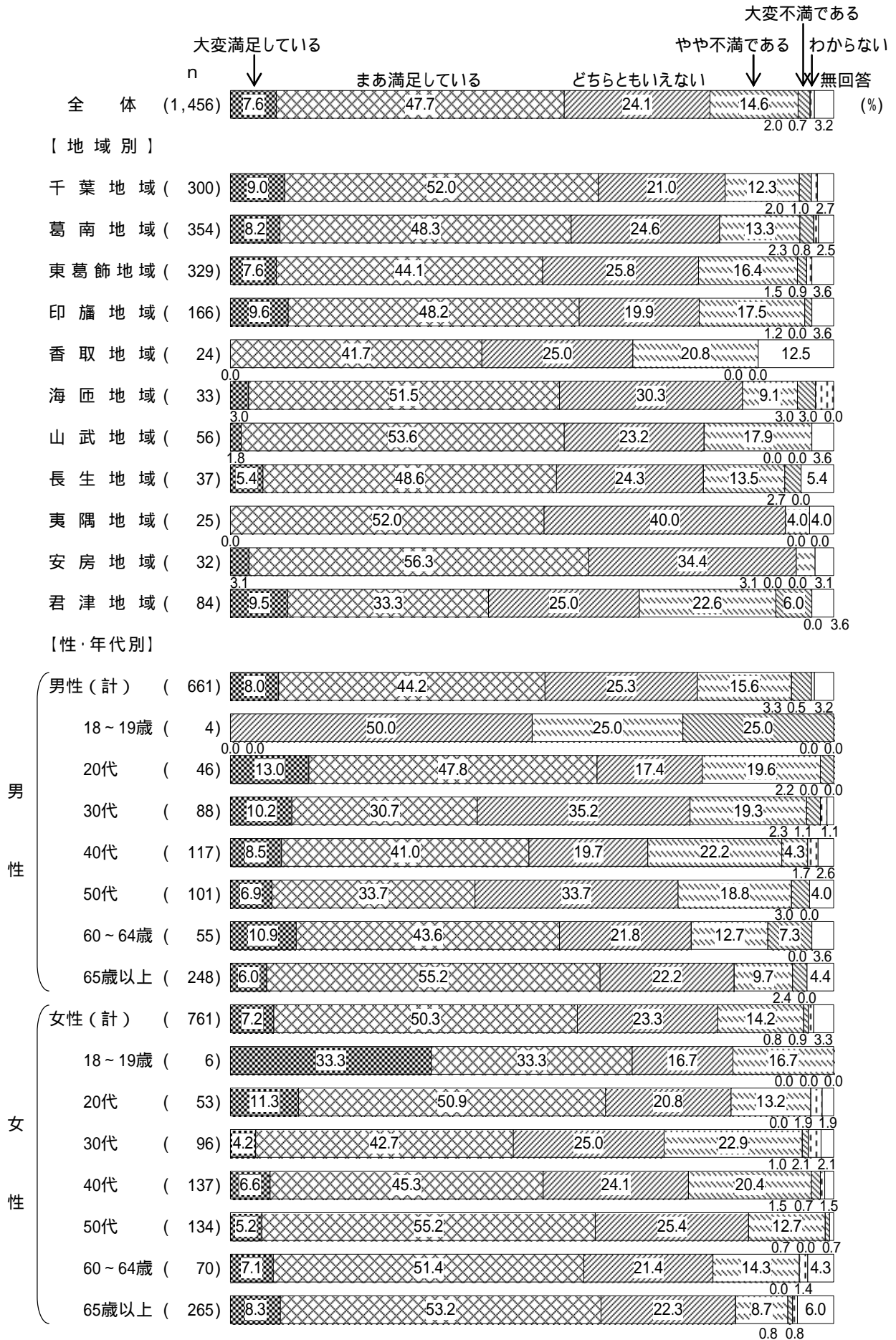
【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している(計)』は男性の65歳以上(61.2%)と女性の20代(62.2%)、65歳以上(61.5%)が6割を超えて高くなっている。

一方、『不満である(計)』は男性の40代(26.5%)が2割台半ばで高くなっている。

(図表1 - 15)

<図表1 - 15> 自然・周辺環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



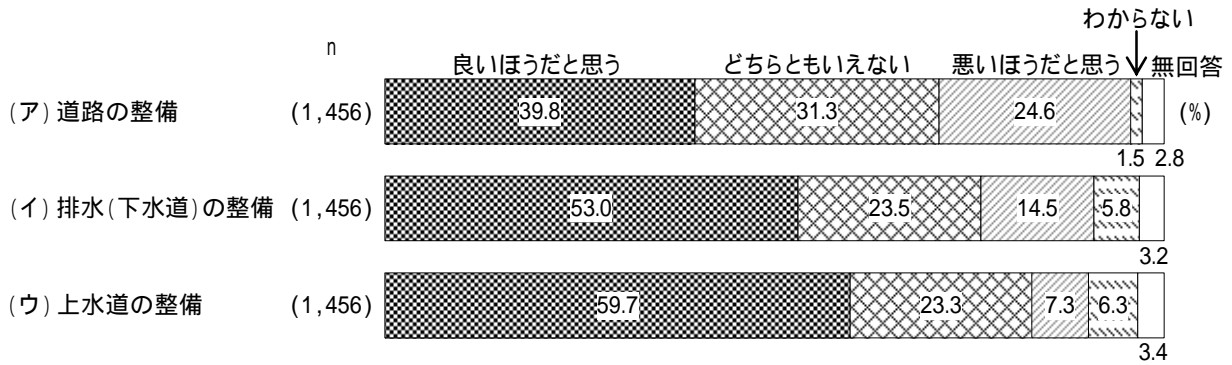
（6）基盤整備について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 上水道の整備 で約6割

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

（ はそれぞれ1つずつ）

<図表1 - 16> 基盤整備について

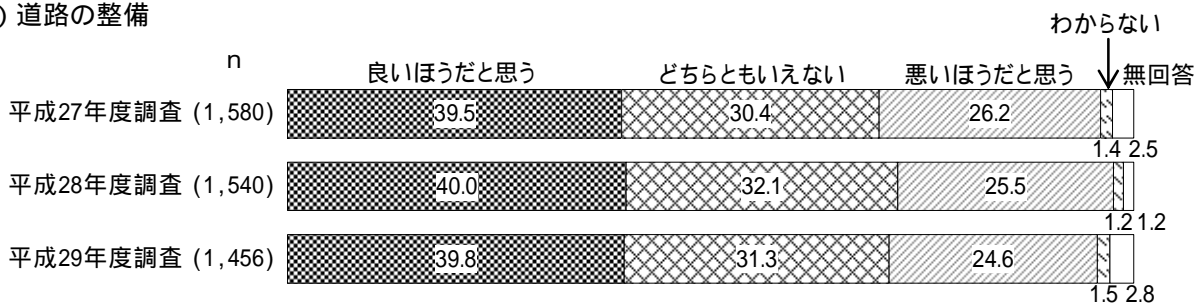


基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、「(ウ) 上水道の整備」(59.7%)が約6割となっており、以下、「(イ) 排水(下水道)の整備」(53.0%)が5割を超え、「(ア) 道路の整備」(39.8%)が約4割で続く。

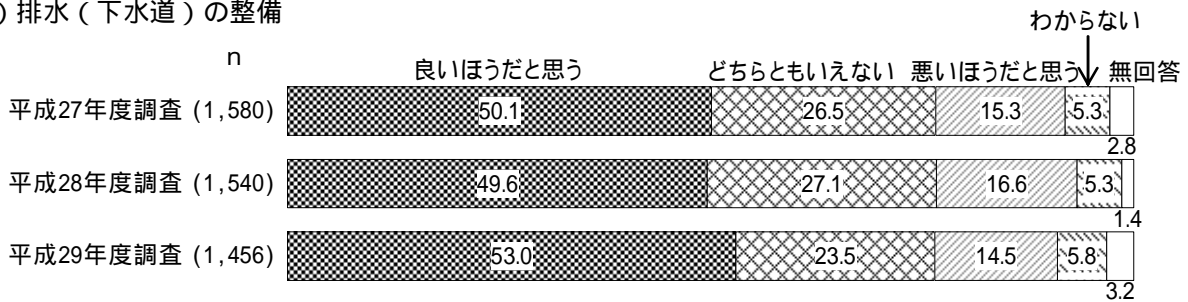
(図表1 - 16)

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

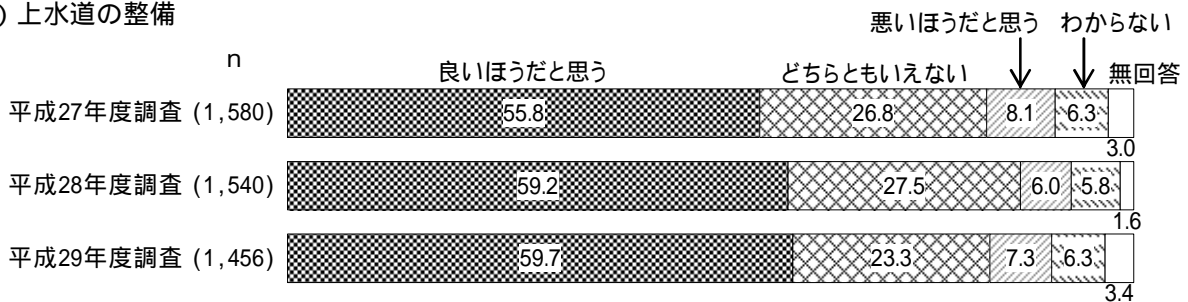
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、「（ア）道路の整備」の「良いほうだと思う」は“千葉地域”（49.7％）が約5割で高くなっている。

「（イ）排水（下水道）の整備」の「良いほうだと思う」は“千葉地域”（65.0％）が6割台半ば、“東葛飾地域”（62.0％）が6割を超えて高くなっている。

一方、「悪いほうだと思う」は“安房地域”（37.5％）が約4割、“香取地域”（29.2％）が約3割で高くなっている。

「（ウ）上水道の整備」の「良いほうだと思う」は“東葛飾地域”（67.2％）が約7割で高くなっている。（図表1 - 17）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「（ア）道路の整備」の「良いほうだと思う」は男性の40代（48.7％）が約5割で高くなっている。

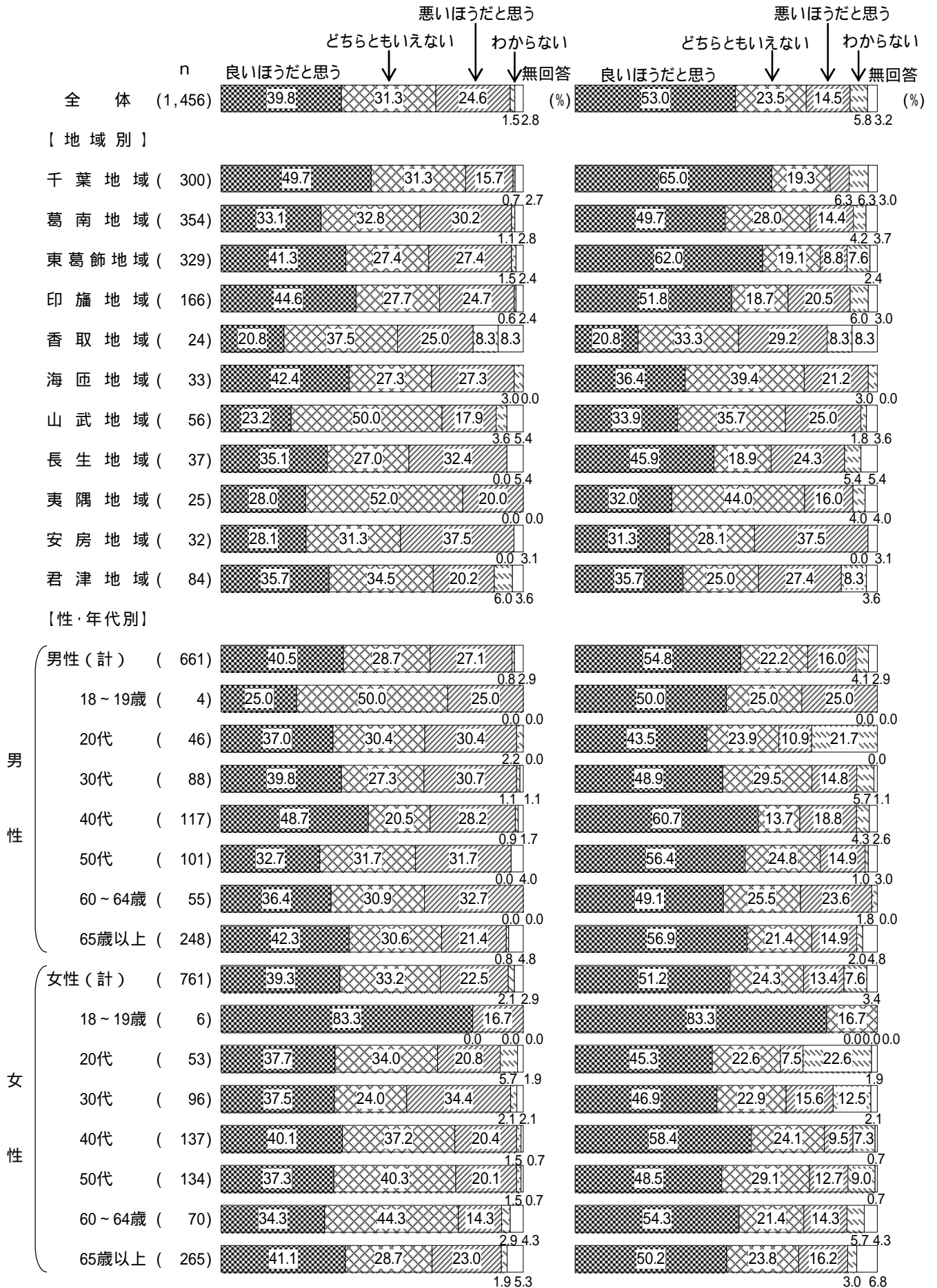
一方、「悪いほうだと思う」は女性の30代（34.4％）が3割台半ばで高くなっている。

（図表1 - 17）

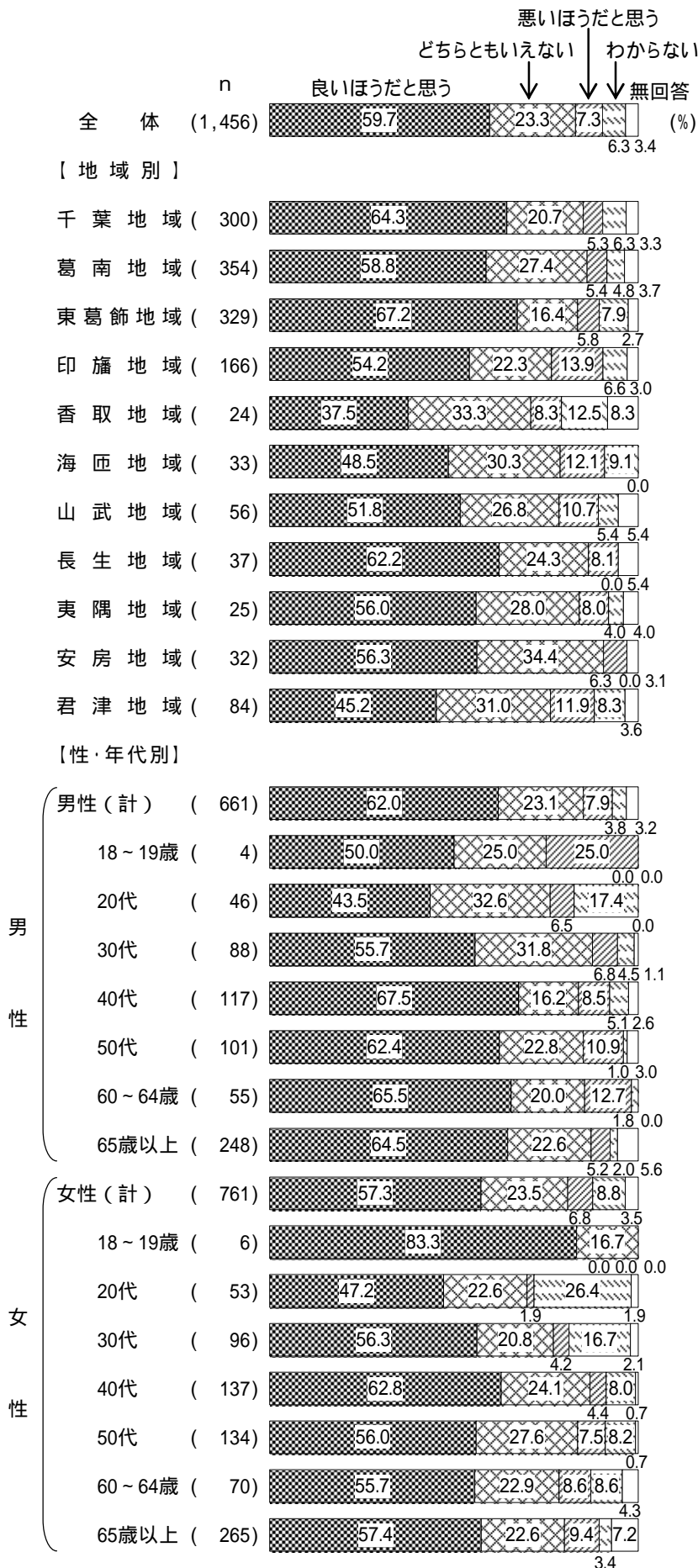
<図表1 - 17> 基盤整備について / 地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



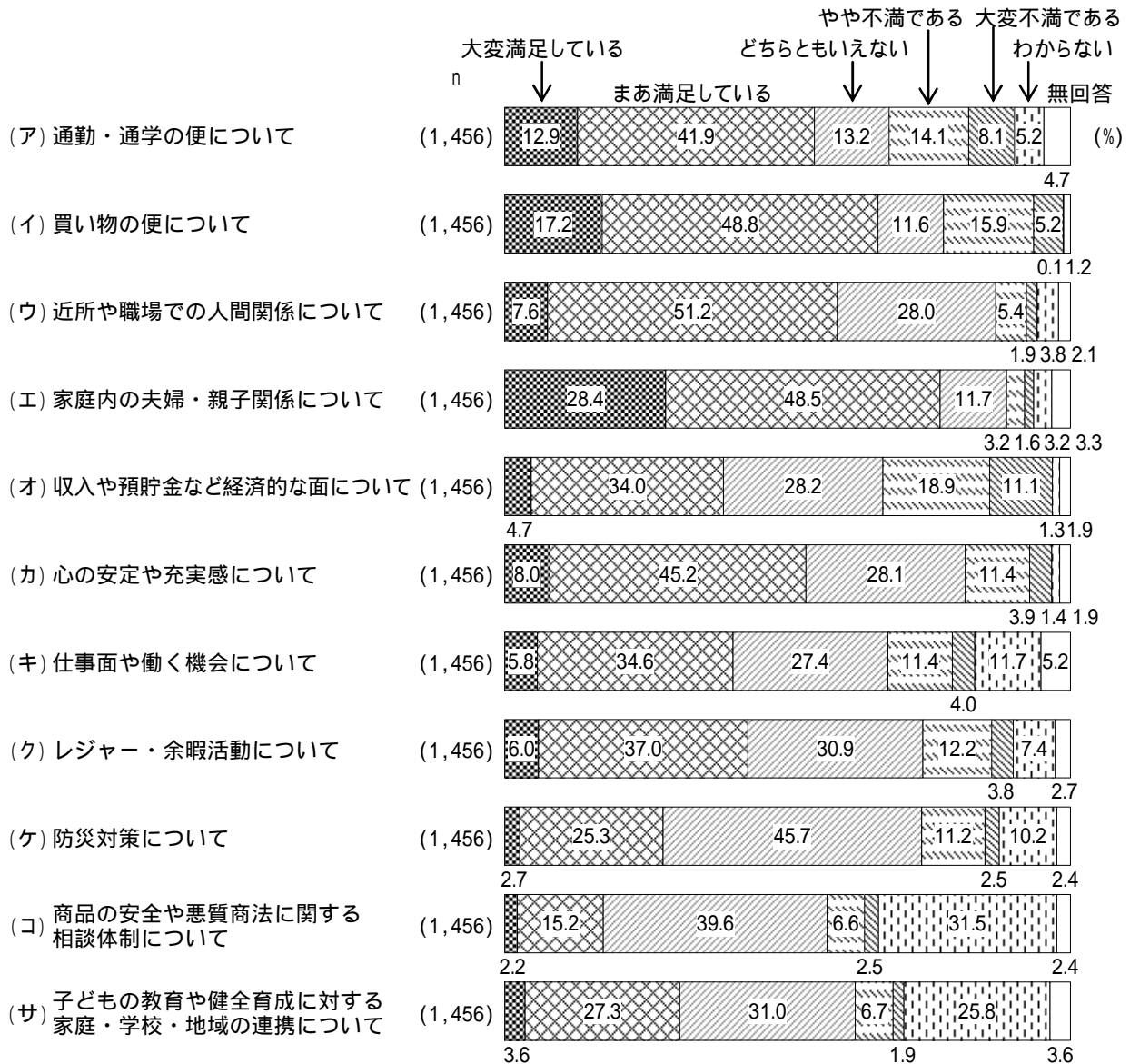


### （7）現在の生活の満足度

『満足している（計）』が最も高いのは 家庭内の夫婦・親子関係について で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。（ はそれぞれ1つずつ）

<図表1 - 18> 現在の生活の満足度



現在の生活に関する11個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している（計）』が最も高いのは、「（エ）家庭内の夫婦・親子関係について」（76.9%）が7割台半ばとなっており、以下、「（イ）買い物の便について」（66.0%）が6割台半ば、「（ウ）近所や職場での人間関係について」（58.8%）が約6割で続く。

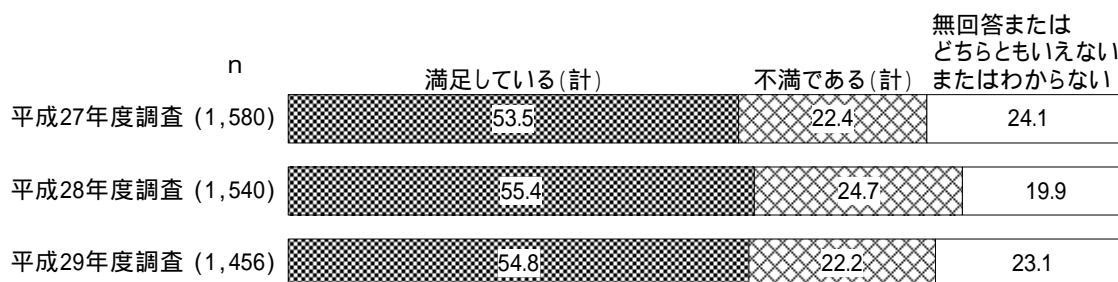
一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である（計）』が最も高いのは、「（オ）収入や預貯金など経済的な面について」（30.0%）が3割となっており、以下、「（ア）通勤・通学の便について」（22.2%）と「（イ）買い物の便について」（21.1%）が2割を超えて続く。

（図表1 - 18）

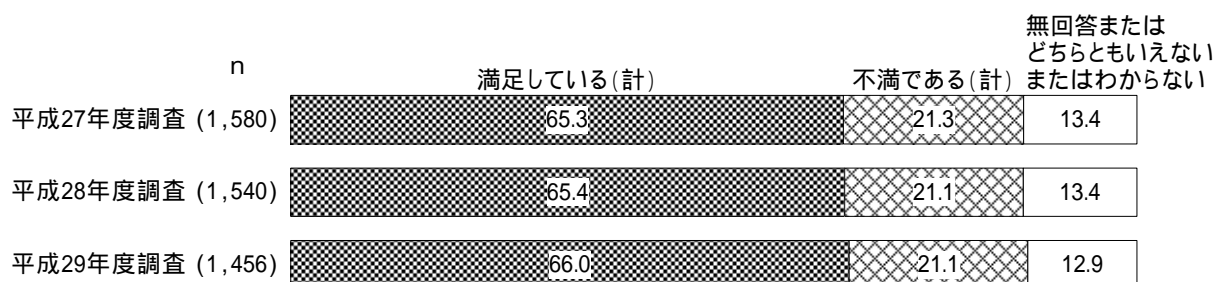
第54回県政に関する世論調査（H29年度）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

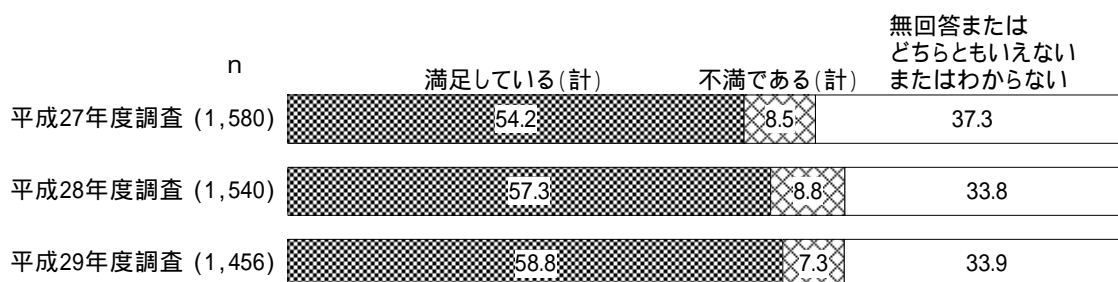
（ア）通勤・通学の便について



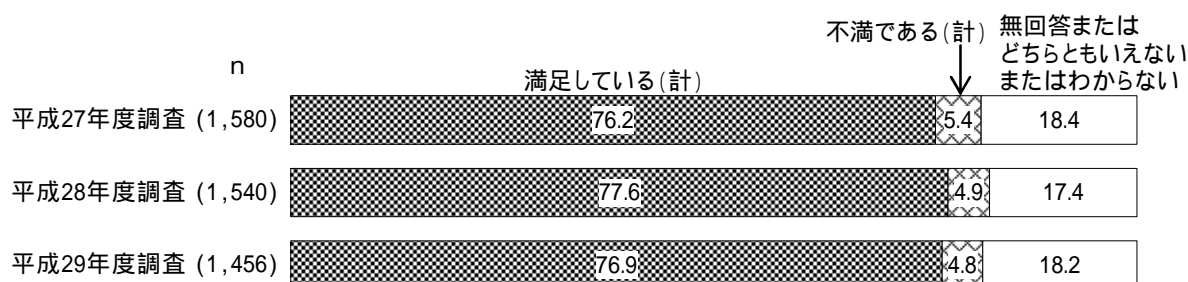
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

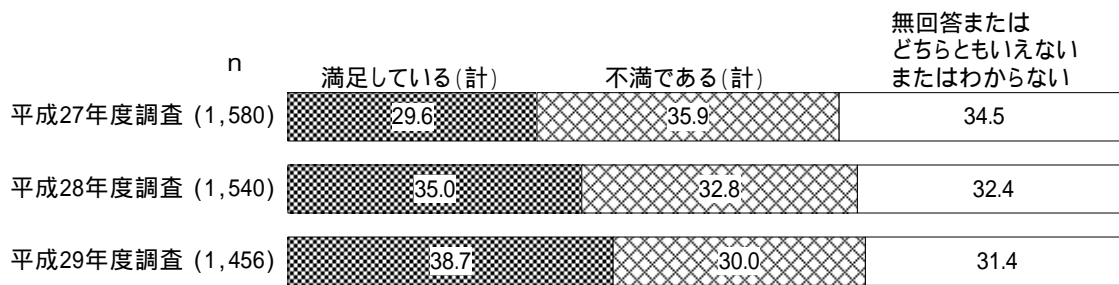


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

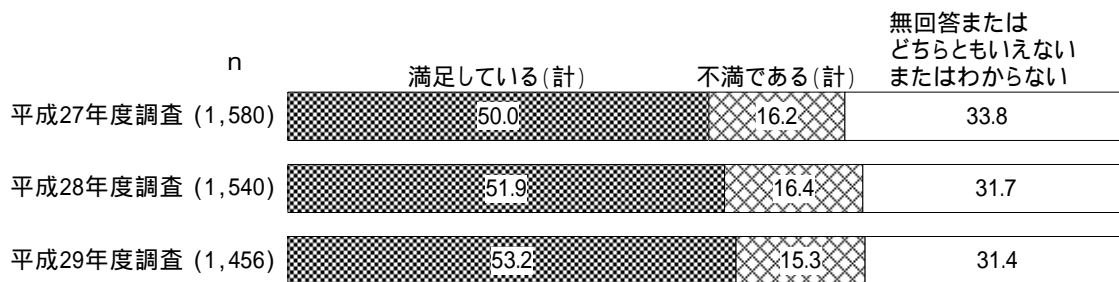


〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

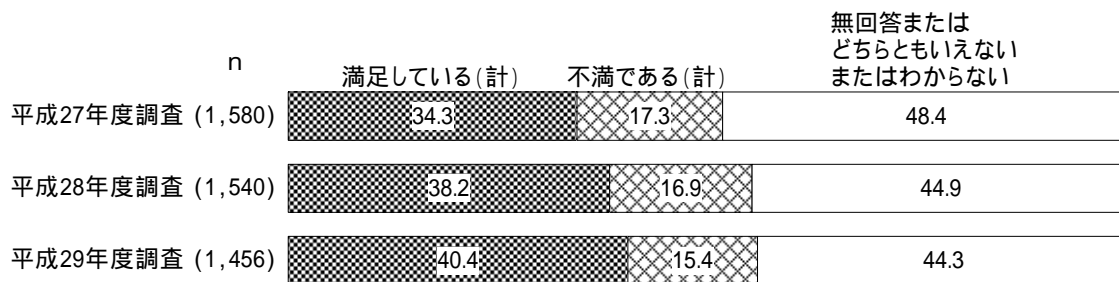
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



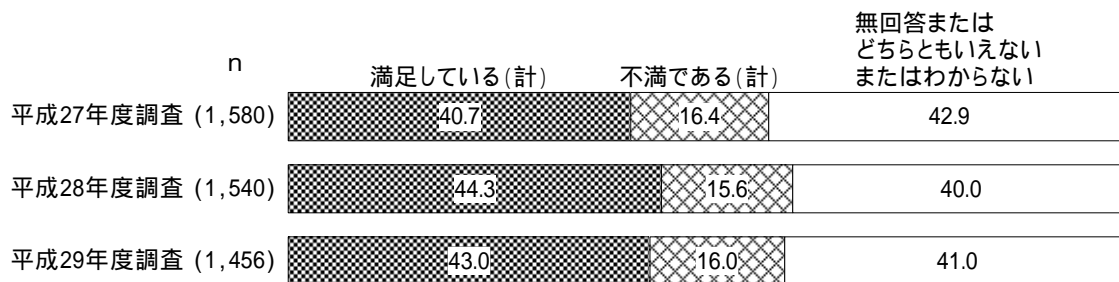
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について



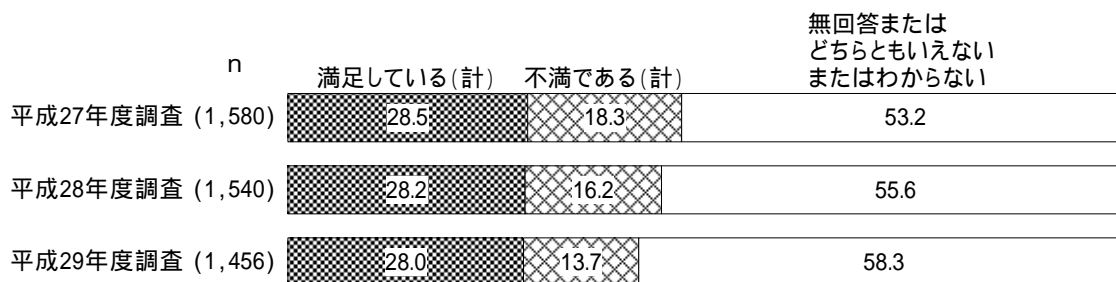
（ク）レジャー・余暇活動について



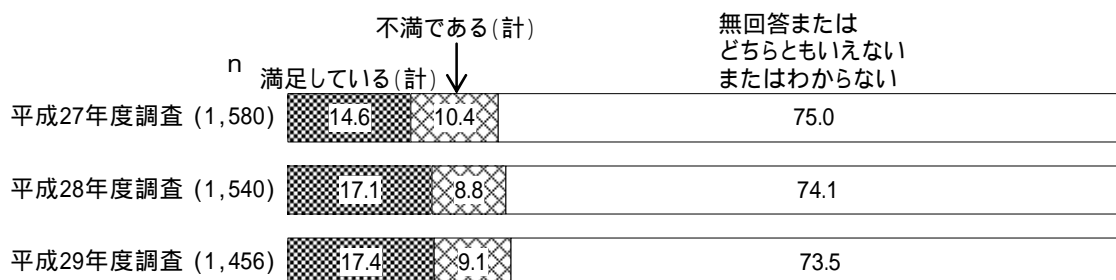
第54回県政に関する世論調査（H29年度）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

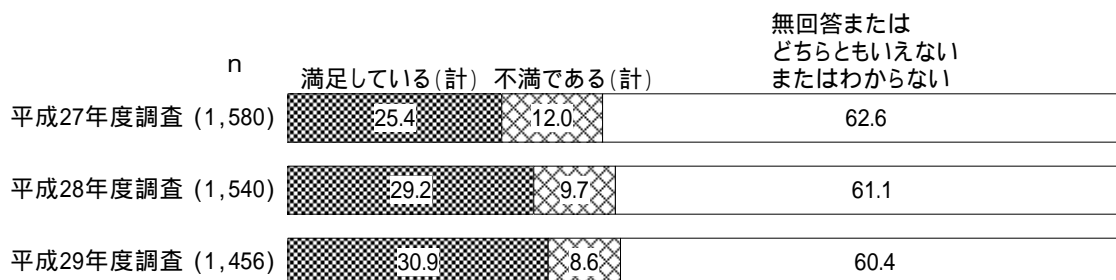
（ケ）防災対策について



（コ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



【地域別】

地域別にみると、「(ア)通勤・通学の便について」の『満足している(計)』は“葛南地域”(65.5%)が6割台半ば、“千葉地域”(63.3%)が6割を超えて高くなっている。

「(イ)買い物の便について」の『満足している(計)』は“葛南地域”(76.0%)が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“夷隅地域”(68.0%)が約7割、“海匠地域”(51.5%)が5割を超えて高くなっている。

「(キ)仕事面や働く機会について」の『満足している(計)』は“葛南地域”(49.4%)が約5割で高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“夷隅地域”(40.0%)が4割、“長生地域”(29.7%)、“安房地域”(28.1%)が約3割で高くなっている。

「(ク)レジャー・余暇活動について」の『満足している(計)』は“葛南地域”(54.8%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である(計)』は“夷隅地域”(40.0%)が4割で高くなっている。

「(サ)子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について」の『満足している(計)』は“香取地域”(50.0%)が5割で高くなっている。(図表1-19)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)通勤・通学の便について」の『満足している(計)』は男性の50代(65.3%)と女性の30代(65.6%)、40代(63.5%)が6割台半ばで高くなっている。

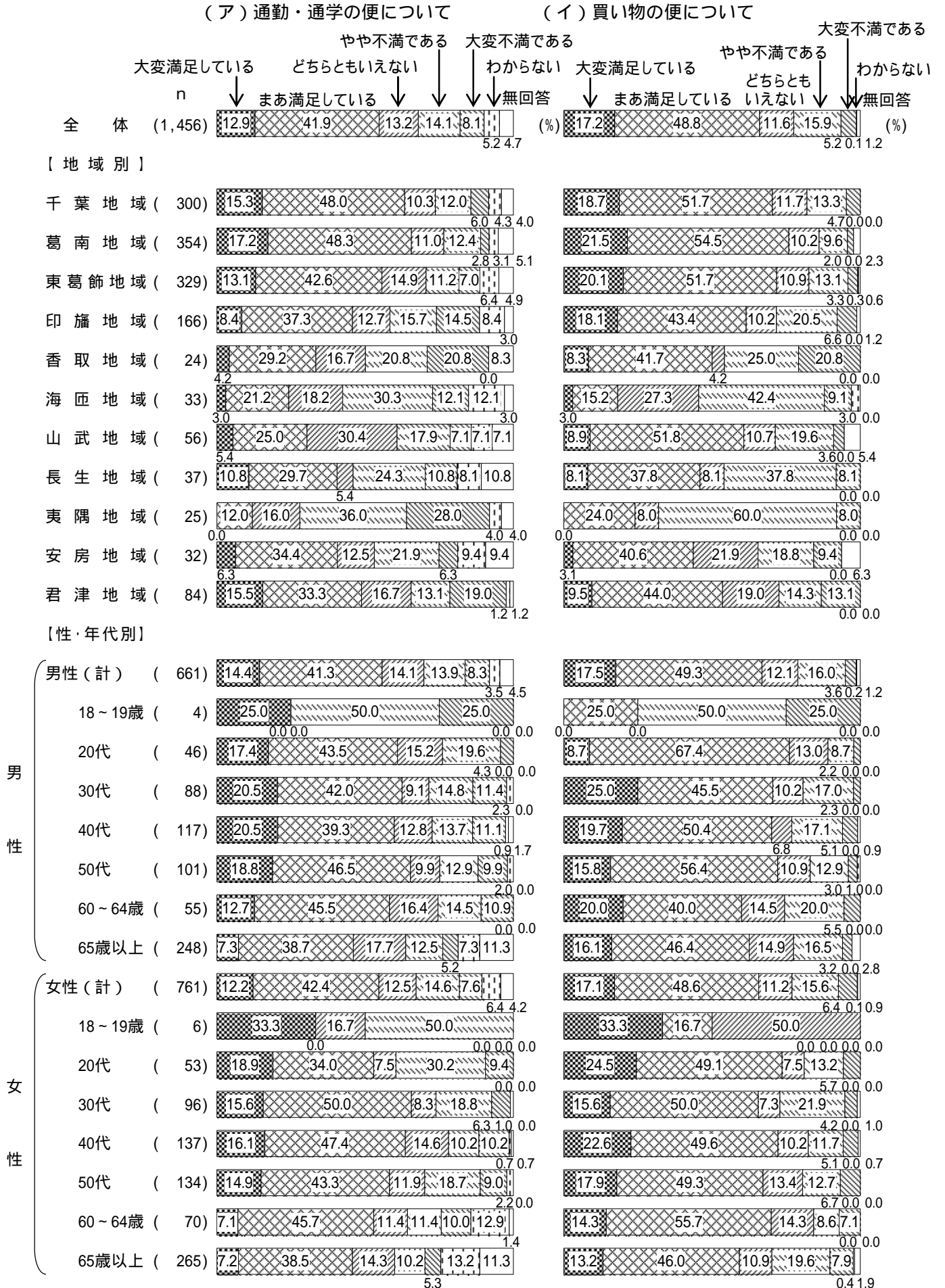
一方、『不満である(計)』は女性の20代(39.6%)が約4割で高くなっている。

「(ウ)近所や職場での人間関係について」の『満足している(計)』は女性の60~64歳(71.4%)が7割を超え、男性の20代(67.4%)と女性の40代(69.4%)が約7割で高くなっている。

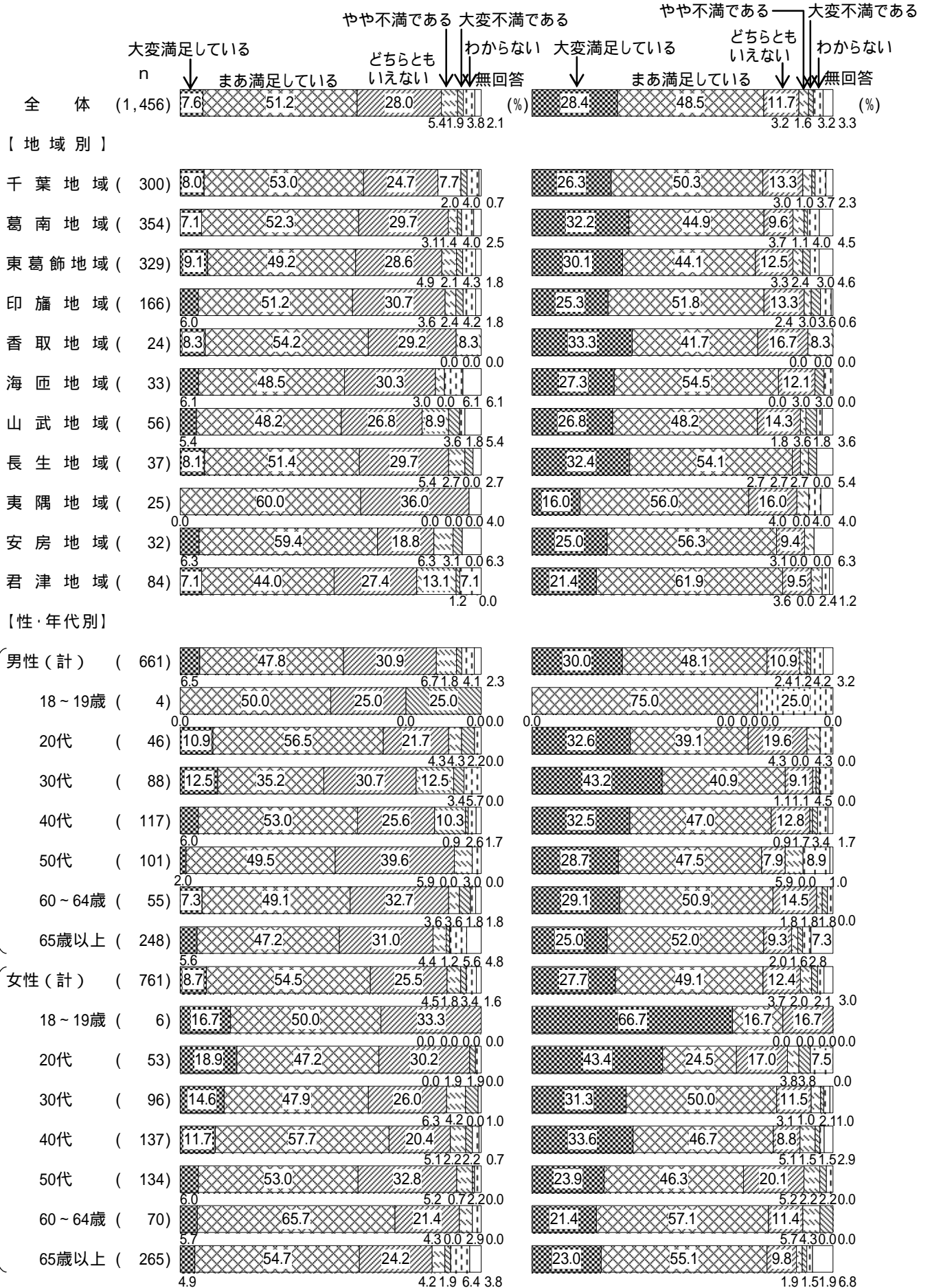
「(キ)仕事面や働く機会について」の『満足している(計)』は女性の20代(58.5%)が約6割、男性の50代(54.5%)が5割台半ばで高くなっている。

「(ケ)防災対策について」の『満足している(計)』は男性の60~64歳(41.8%)が4割を超えて高くなっている。(図表1-19)

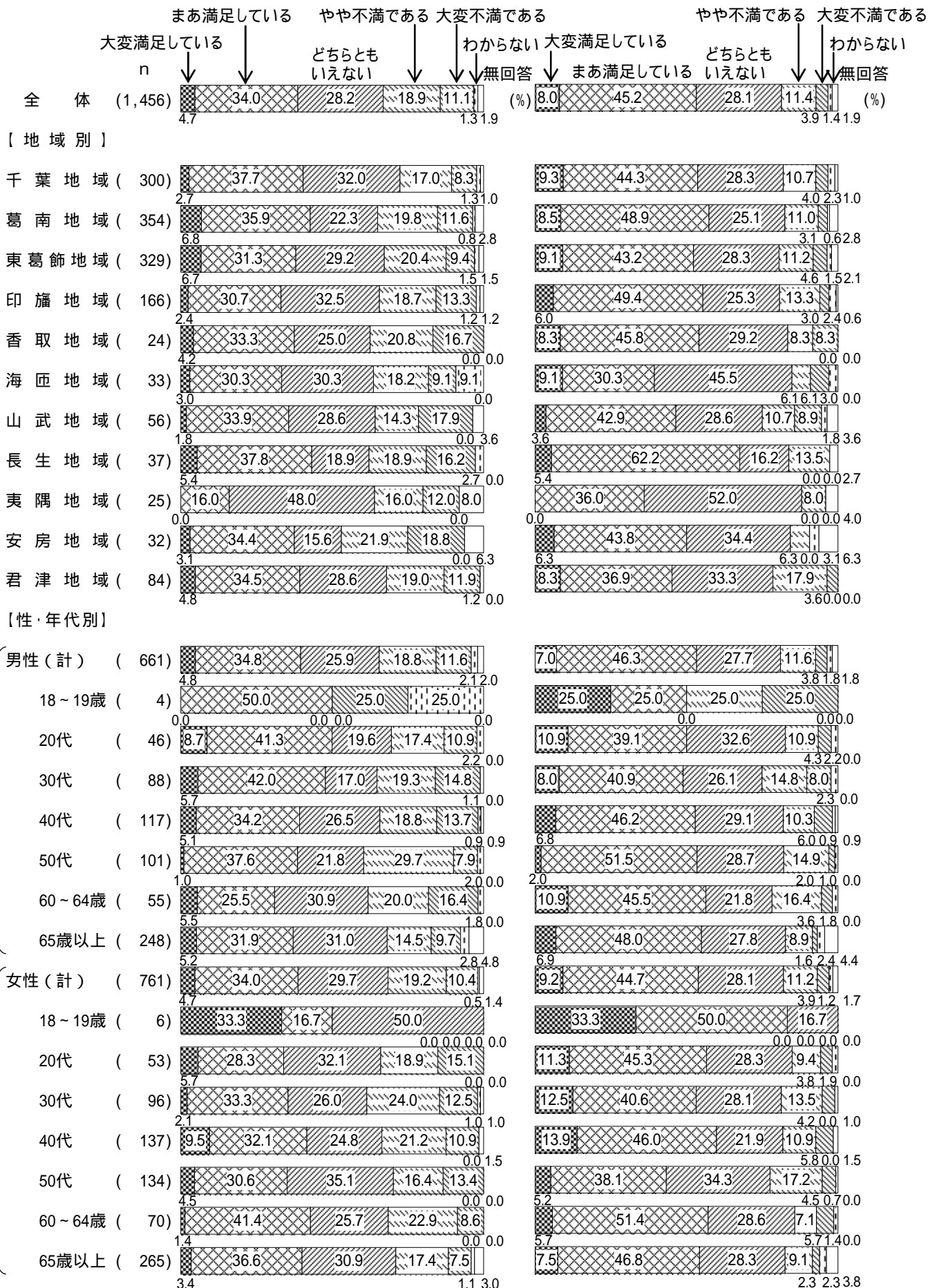
<図表1 - 19> 現在の生活の満足度 / 地域別、性・年代別



(ウ) 近所や職場での人間関係について (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



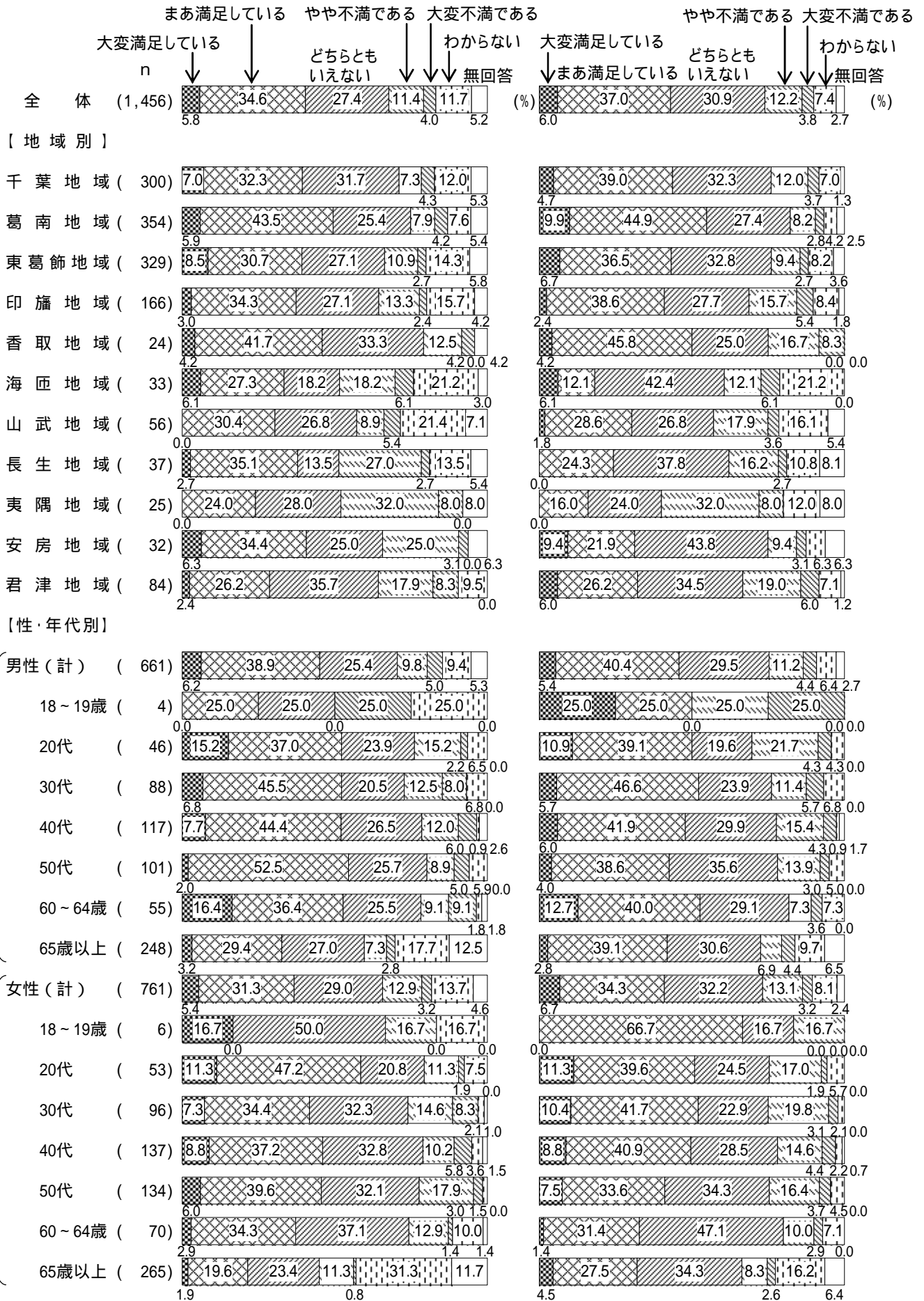
（オ）収入や預貯金など経済的な面について （カ）心の安定や充実感について





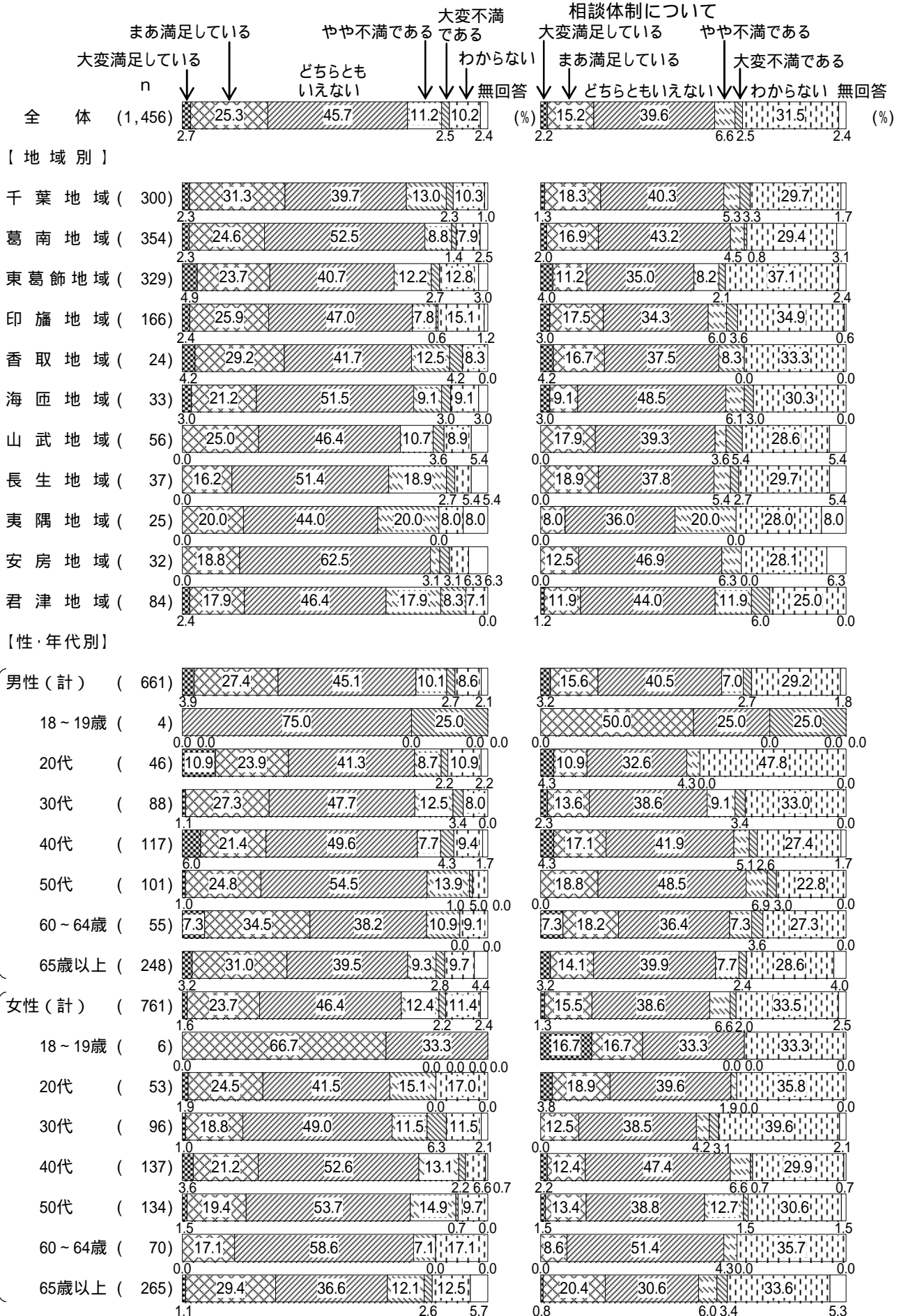
(キ) 仕事面や働く機会について

(ク) レジャー・余暇活動について

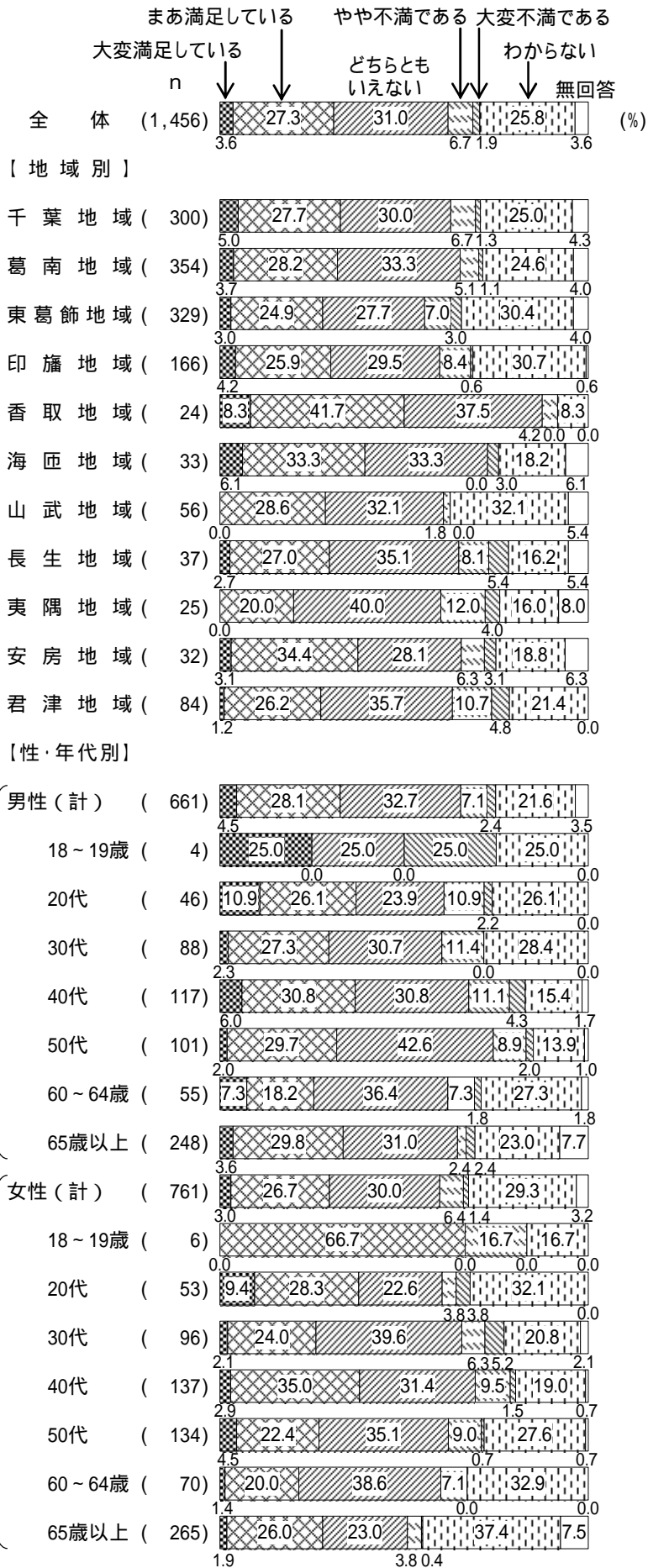


(ケ) 防災対策について

(コ) 商品の安全や悪質商法に関する  
相談体制について



（サ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

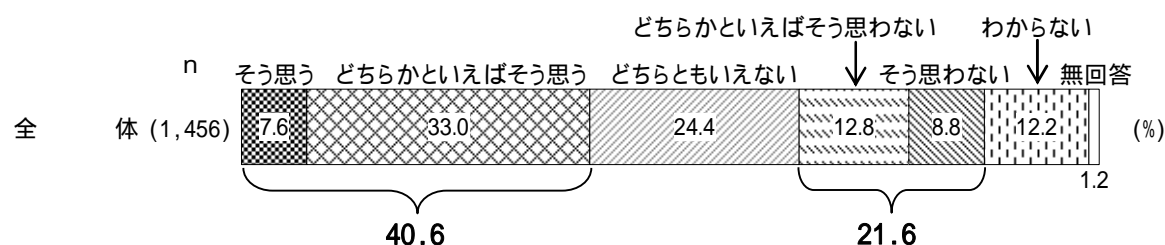


## （8）犯罪が起こりにくいまちづくりについて

『そう思う（計）』が4割

問8 あなたは、現在お住まいの地域で、犯罪が起こりにくいまちづくりが進められていると思いますか。（は1つ）

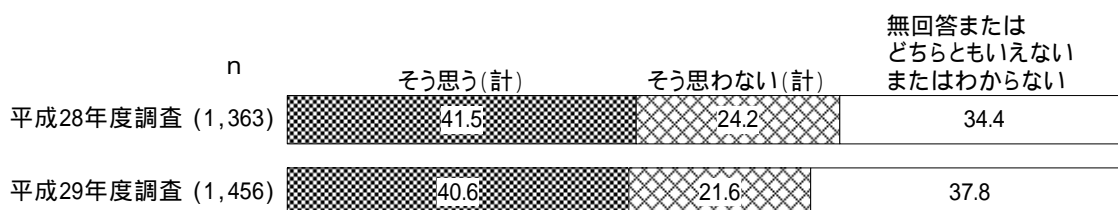
<図表1-20> 犯罪が起こりにくいまちづくりの進捗



お住まいの地域で、犯罪が起こりにくいまちづくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(7.6%)と「どちらかといえばそう思う」(33.0%)を合わせた『そう思う(計)』(40.6%)が4割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.8%)と「そう思わない」(8.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(21.6%)は2割を超えている。(図表1-20)

〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



平成28年度調査は、「第53回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う(計)』は“夷隅地域”(60.0%)が6割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は“君津地域”(31.0%)が3割を超えて高くなっている。

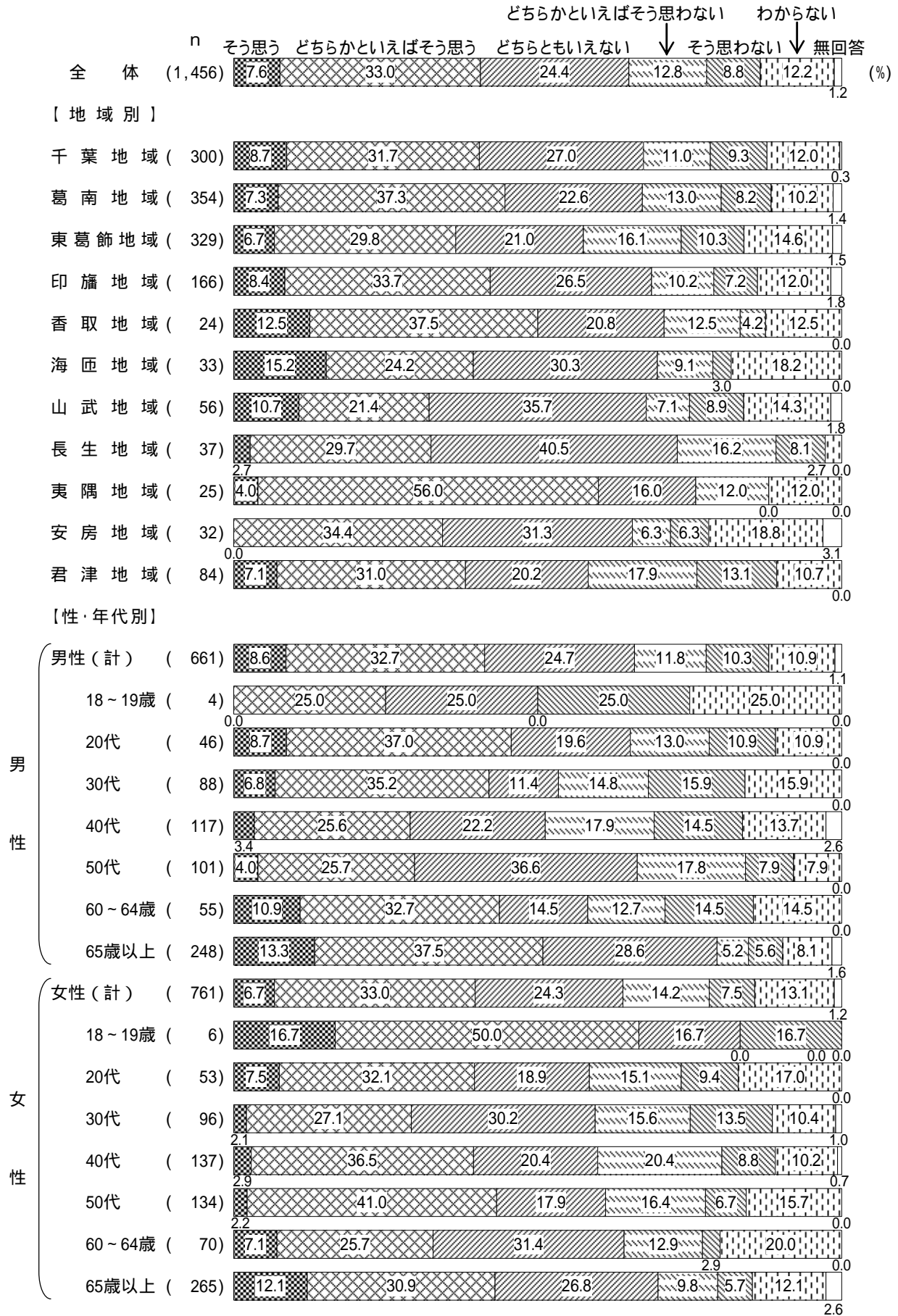
(図表1-21)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う(計)』は男性の65歳以上(50.8%)が5割で高くなっている。

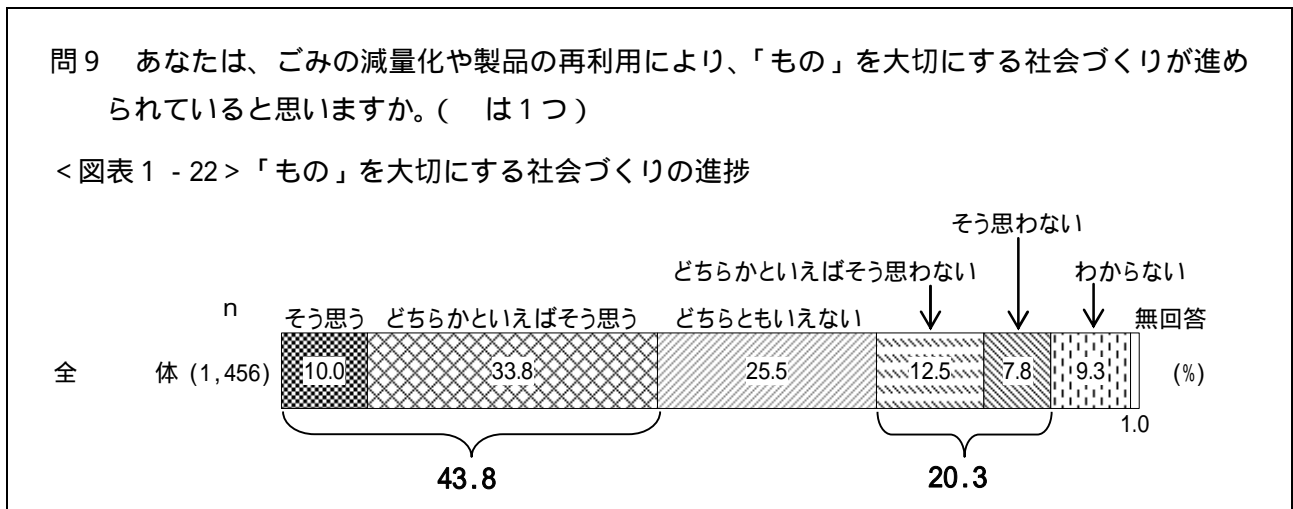
一方、『そう思わない(計)』は男性の40代(32.4%)が3割を超え、男性の30代(30.7%)が3割で高くなっている。(図表1-21)

<図表1 - 21> 犯罪が起こりにくいまちづくりの進捗 / 地域別、性・年代別



### (9)「もの」を大切に作る社会づくりについて

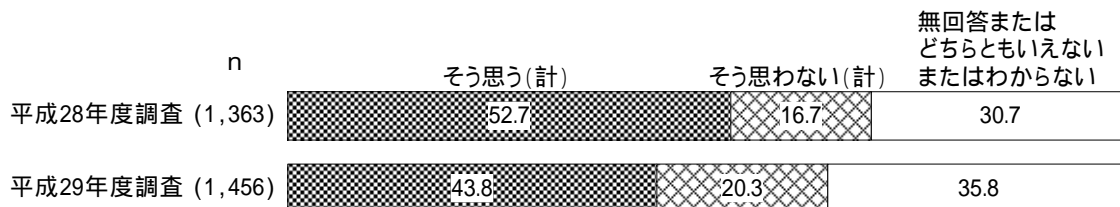
『そう思う（計）』が4割台半ば



「もの」を大切に作る社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」（10.0%）と「どちらかといえばそう思う」（33.8%）を合わせた『そう思う（計）』（43.8%）が4割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（12.5%）と「そう思わない」（7.8%）を合わせた『そう思わない（計）』（20.3%）は2割となっている。（図表1-22）

〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



平成28年度調査は、「第53回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

#### 【地域別】

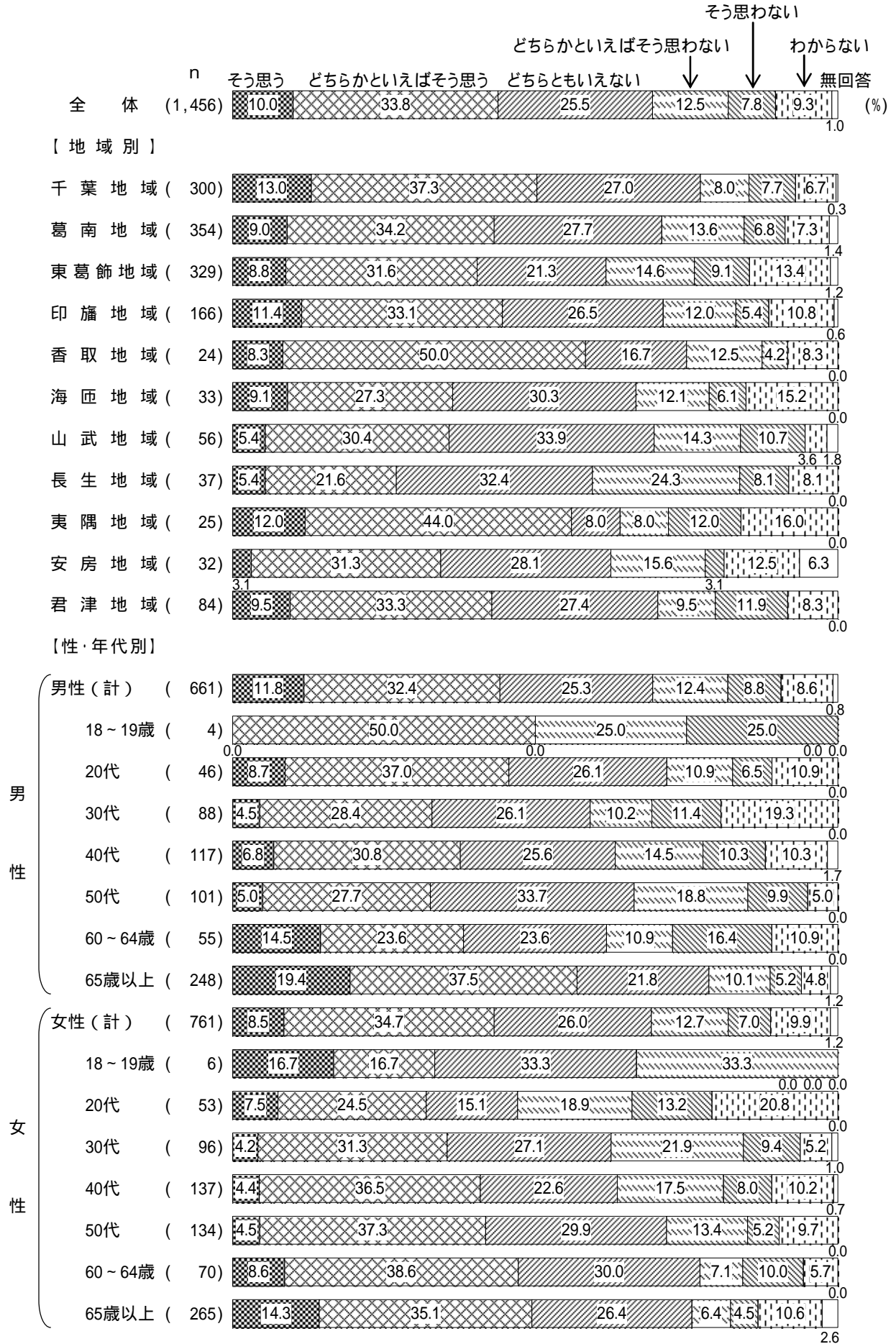
地域別にみると、『そう思う（計）』は“香取地域”（58.3%）が約6割、“夷隅地域”（56.0%）が5割台半ばで高くなっている。（図表1-23）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の65歳以上（56.9%）が5割台半ばで高くなっている。

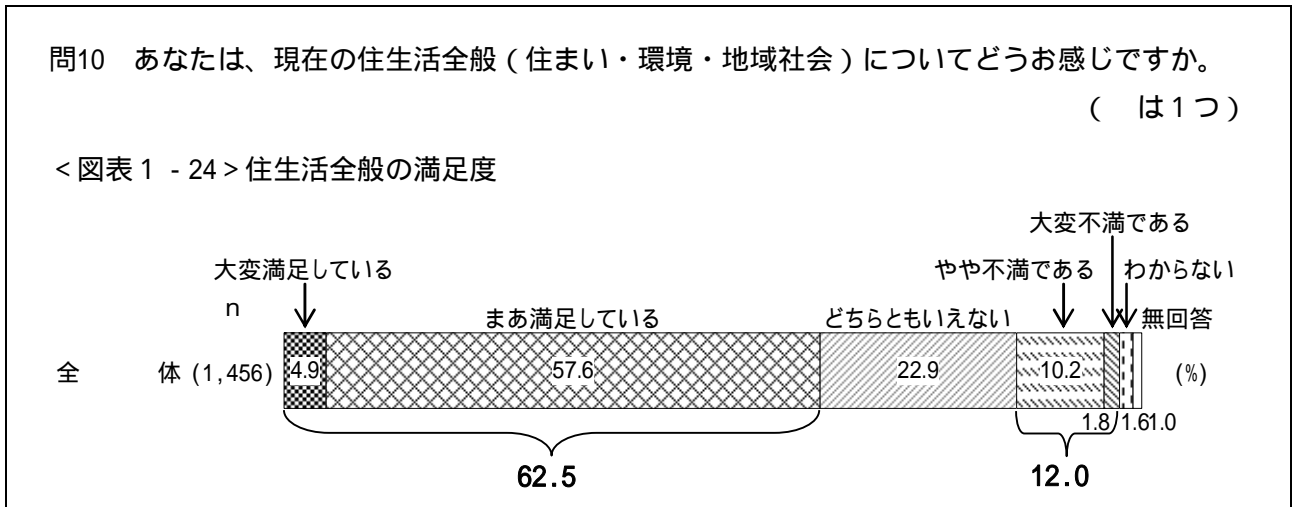
一方、『そう思わない（計）』は女性の20代（32.1%）、30代（31.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表1-23）

<図表1 - 23> 「もの」を大切に作る社会づくりの進捗 / 地域別、性・年代別



### (10) 住生活全般の満足度

『満足している（計）』が6割を超える



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.9%）と「まあ満足している」（57.6%）を合わせた『満足している（計）』（62.5%）が6割を超えて高くなっている。

一方、「やや不満である」（10.2%）と「大変不満である」（1.8%）を合わせた『不満である（計）』（12.0%）は1割を超えている。（図表1 - 24）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）

n	満足している(計)	不満である(計)	無回答またはどちらともいえないまたはわからない
平成27年度調査 (1,580)	59.9	13.8	26.3
平成28年度調査 (1,540)	64.2	13.2	22.7
平成29年度調査 (1,456)	62.5	12.0	25.5

#### 【地域別】

地域別にみると、『満足している（計）』は“葛南地域”（69.2%）が約7割で高くなっている。

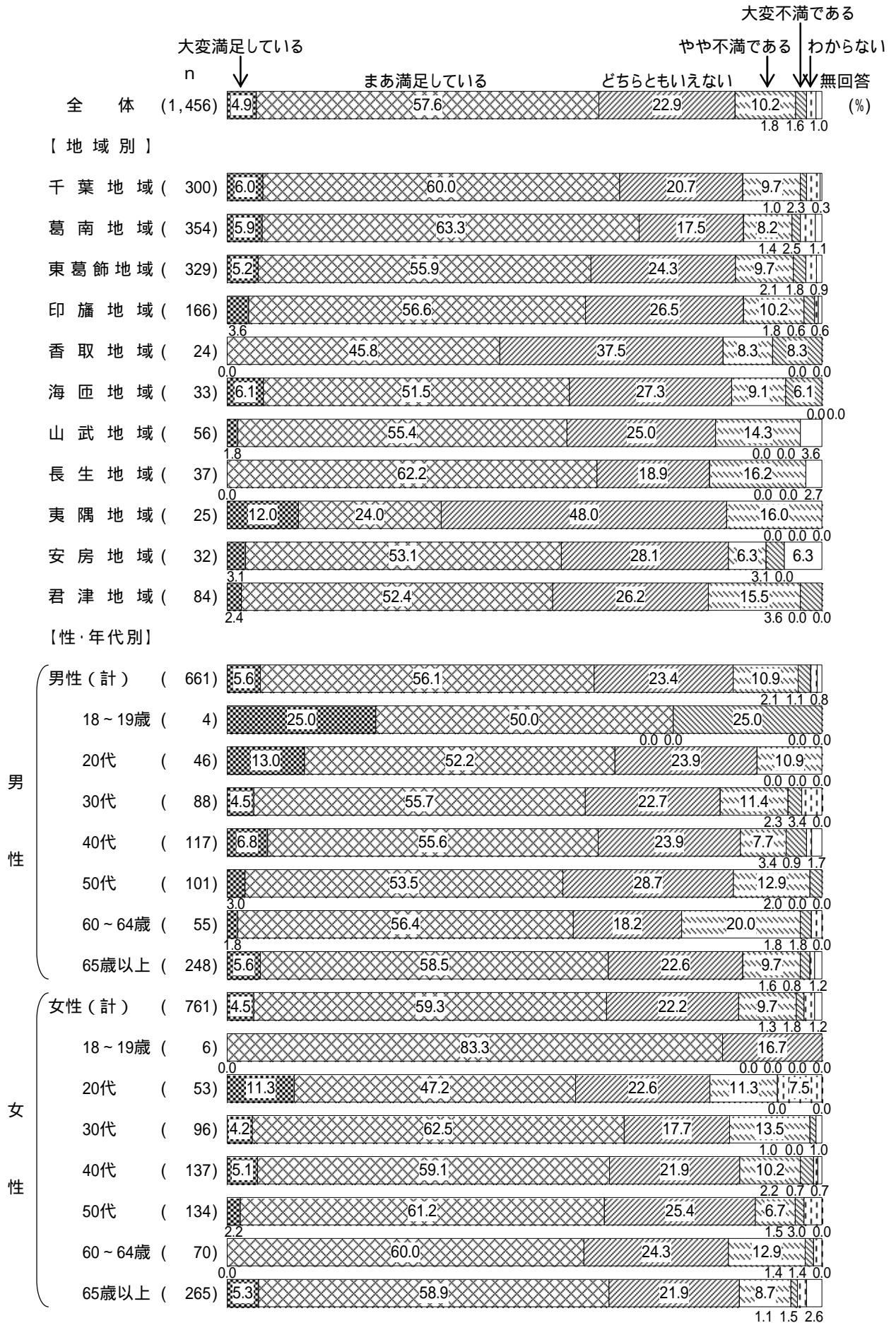
（図表1 - 25）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、大きな傾向の違いはみられない。（図表1 - 25）



<図表1 - 25> 住生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別

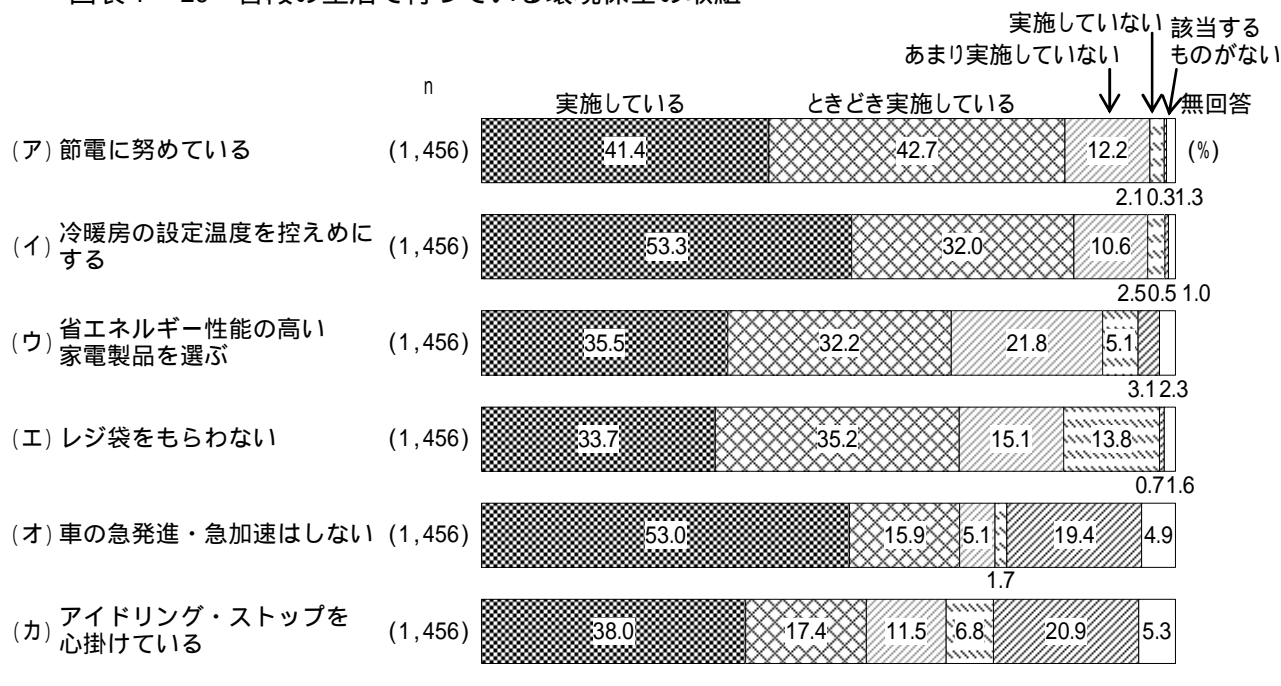


### （11）普段の生活で行っている環境保全の取組

「実施している」が高いのは 冷暖房の設定温度を控えめにする と 車の急発進・急加速はしない で5割を超える

問11 あなたは、普段の生活で環境に配慮した次のような取り組みを行っていますか。  
（ はそれぞれ1つずつ）

<図表1 - 26> 普段の生活で行っている環境保全の取組



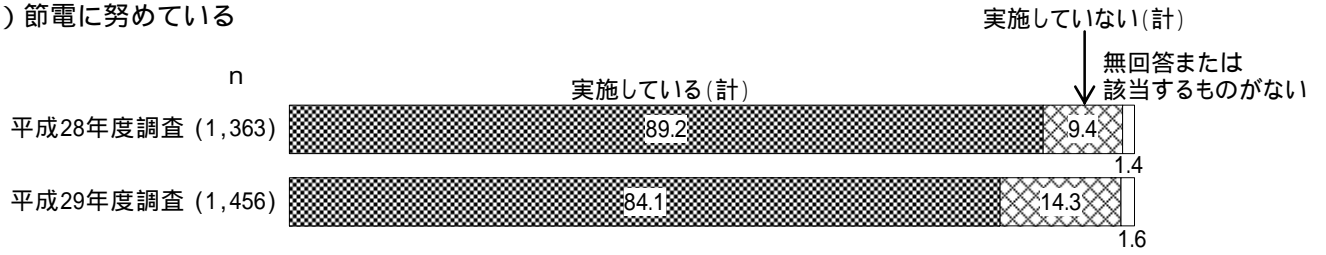
普段の生活で行っている環境保全の取組に関する6つの項目について、それぞれの実施状況を聞いたところ、「実施している」は「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(53.3%)と「(オ) 車の急発進・急加速はしない」(53.0%)が5割を超えて高く、以下、「(ア) 節電に努めている」(41.4%)が4割を超え、「(カ) アイドリング・ストップを心掛けている」(38.0%)が約4割で続く。

一方、「あまり実施していない」と「実施していない」を合わせた『実施していない(計)』は「(エ) レジ袋をもらわない」(28.9%)が約3割、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(26.9%)が2割台半ばとなっている。(図表1 - 26)

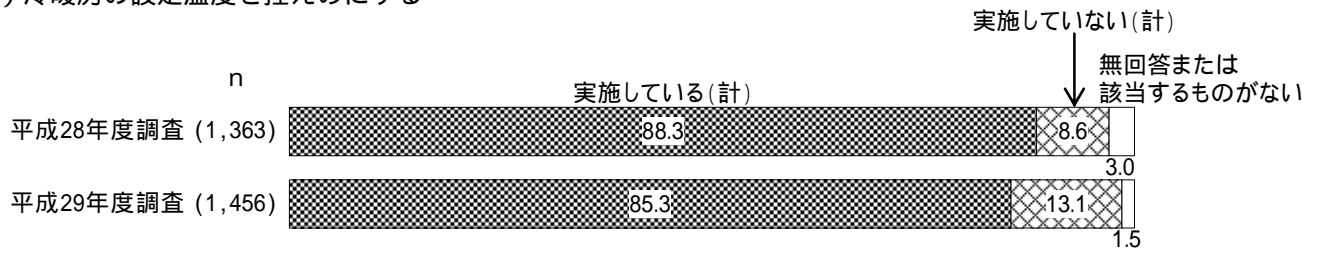
〔参考〕平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

平成28年度調査は、「第53回県政に関する世論調査」の調査結果を掲載

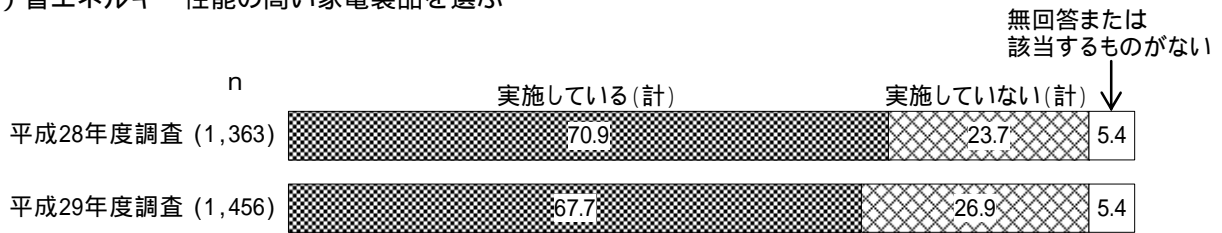
（ア）節電に努めている



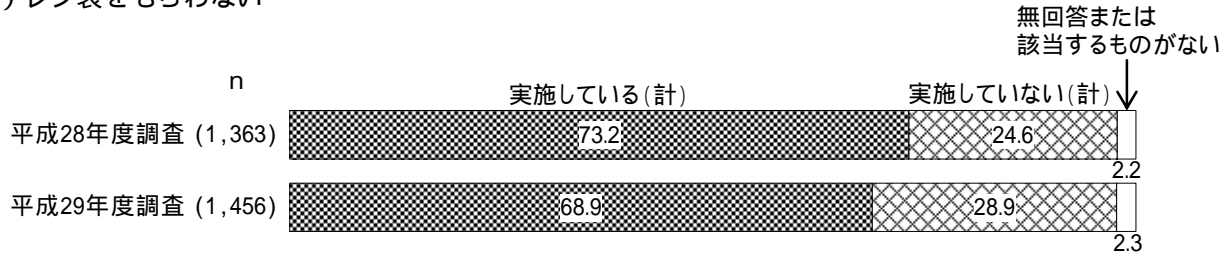
（イ）冷暖房の設定温度を控えめにする



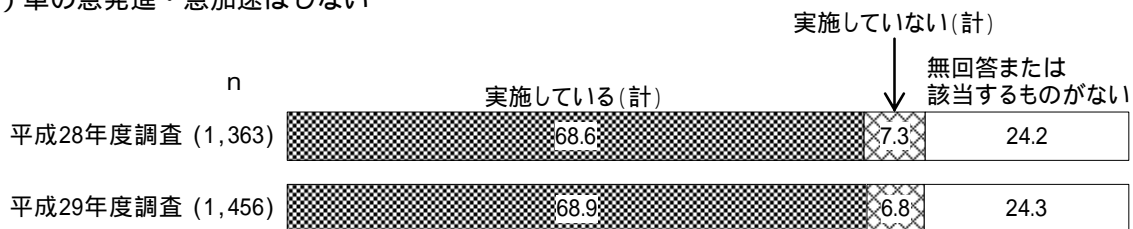
（ウ）省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ



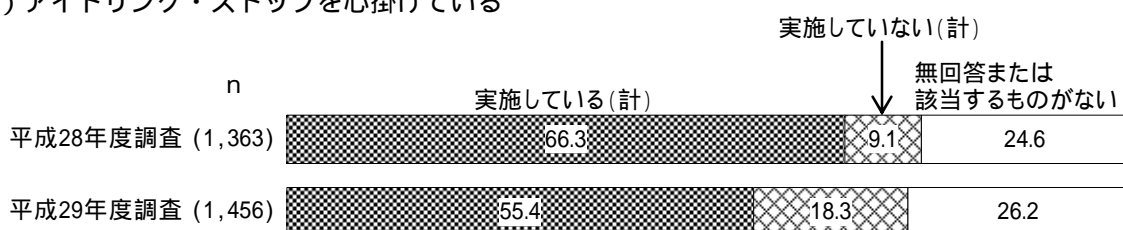
（エ）レジ袋をもらわない



（オ）車の急発進・急加速はしない



（カ）アイドリング・ストップを心掛けている



【地域別】

地域別にみると、「(オ)車の急発進・急加速はしない」の「実施している」は“安房地域”(68.8%)と“夷隅地域”(68.0%)が約7割で高くなっている。

「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の「実施している」は“安房地域”(53.1%)が5割を超えて高くなっている。(図表1-27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア)節電に努めている」の「実施している」は女性の65歳以上(56.2%)が5割台半ばで高くなっている。

「(イ)冷暖房の設定温度を控えめにする」の「実施している」は女性の60～64歳(65.7%)が6割台半ば、女性の50代(61.9%)、65歳以上(63.0%)が6割を超えて高くなっている。

「(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」の「実施している」は女性の65歳以上(47.2%)が約5割で高くなっている。

「(エ)レジ袋をもらわない」の「実施している」は女性の50代(50.7%)、60～64歳(50.0%)が5割、女性の65歳以上(43.0%)が4割を超えて高くなっている。

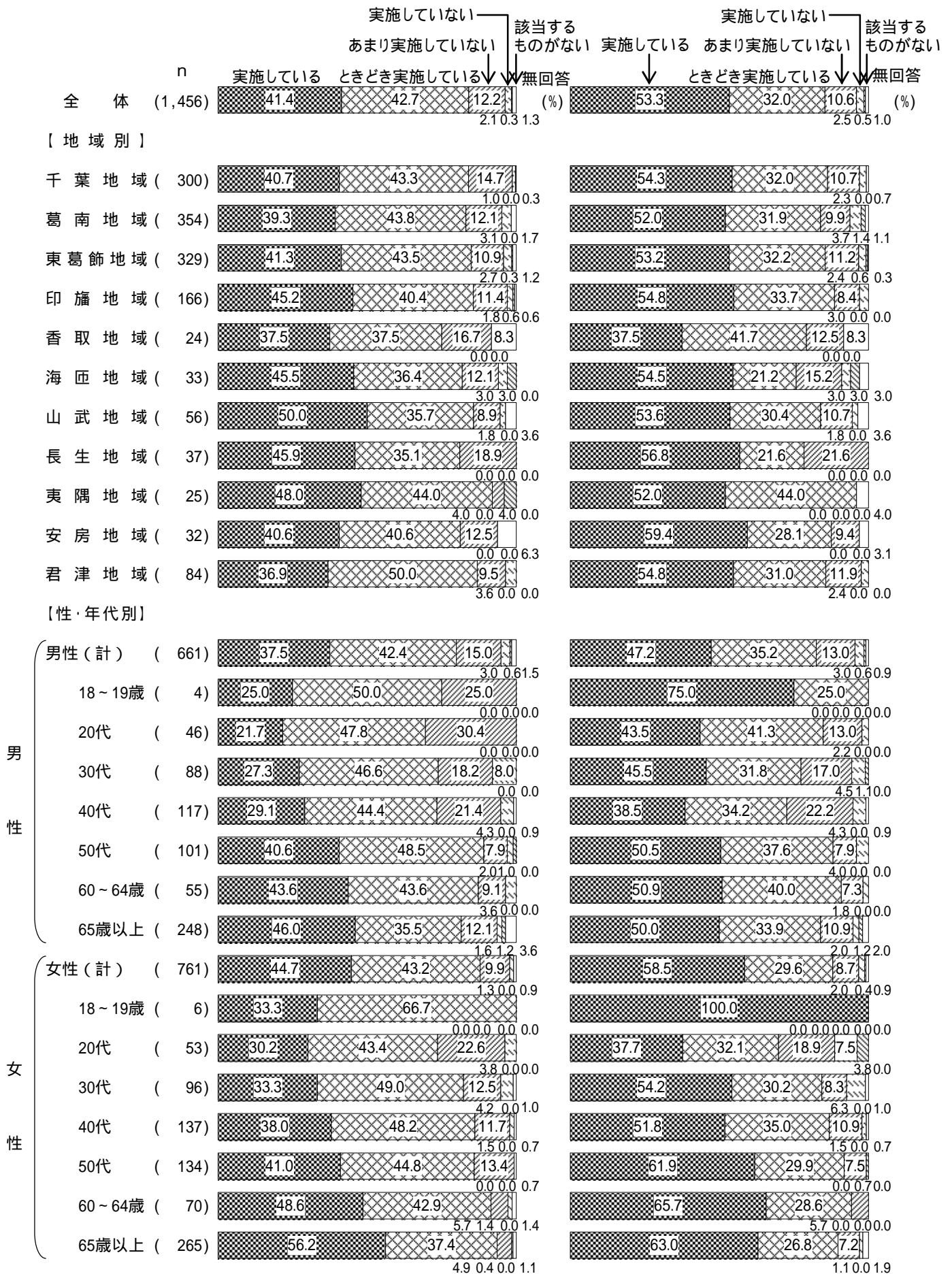
「(オ)車の急発進・急加速はしない」の「実施している」は男性の60～64歳(65.5%)、65歳以上(64.5%)が6割台半ばで高くなっている。

「(カ)アイドリング・ストップを心掛けている」の「実施している」は女性の60～64歳(55.7%)が5割台半ば、男性の60～64歳(50.9%)が5割で高くなっている。(図表1-27)

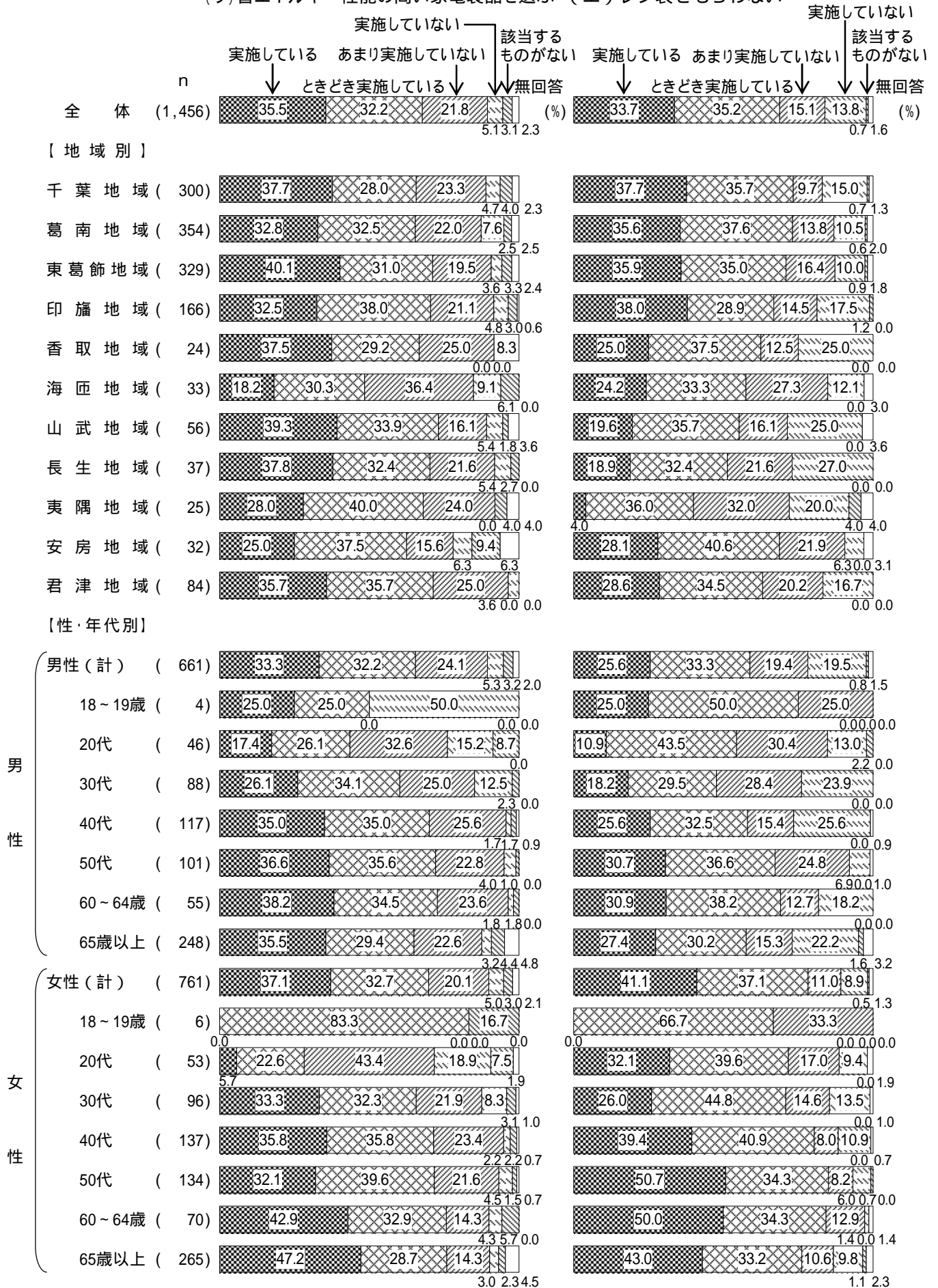
<図表1 - 27> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別

(ア) 節電に努めている

(イ) 冷暖房の設定温度を控えるにする

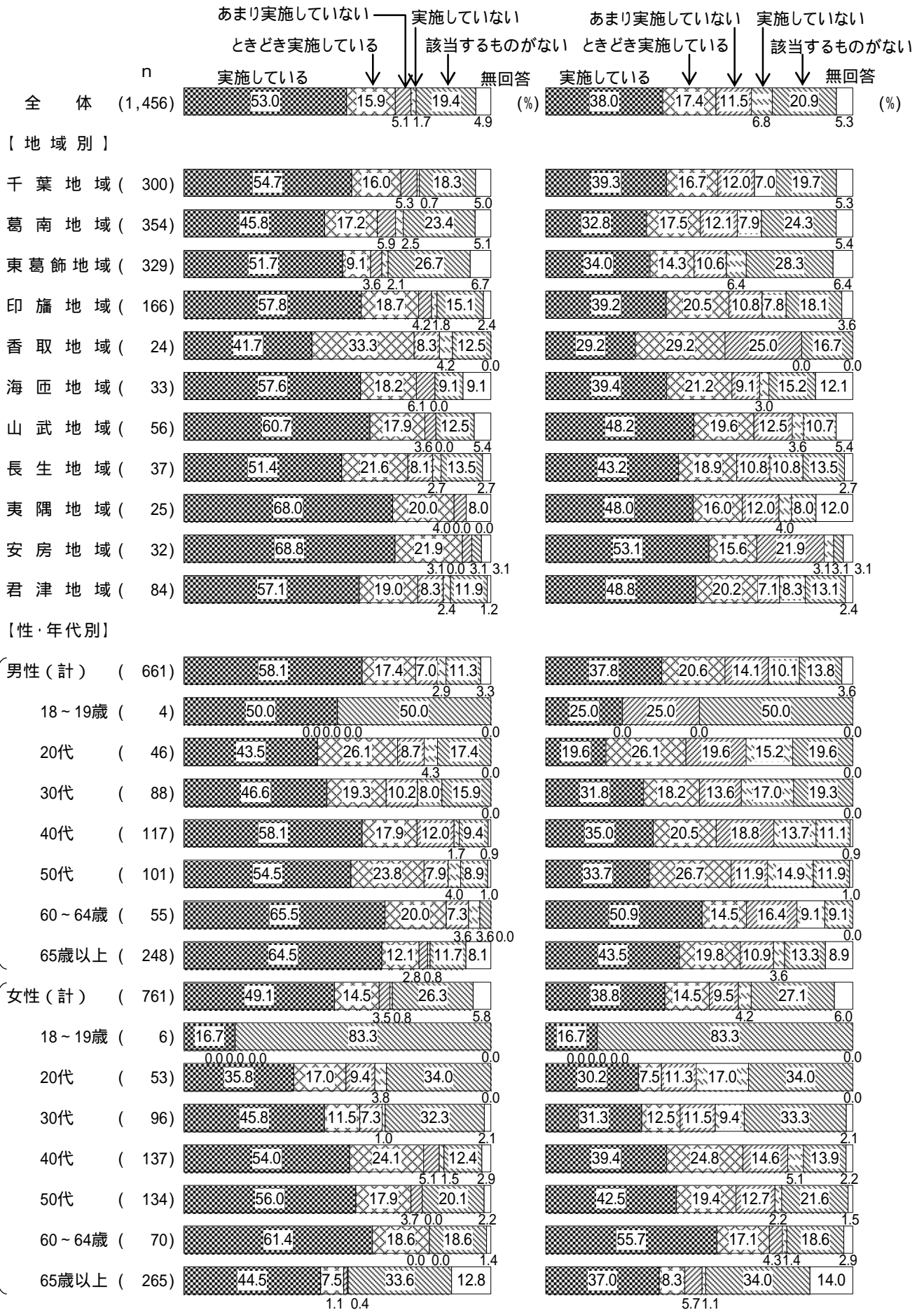


(ウ)省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ (エ)レジ袋をもらわない



(オ) 車の急発進・急加速はしない

(カ) アイドリング・ストップを心掛けている



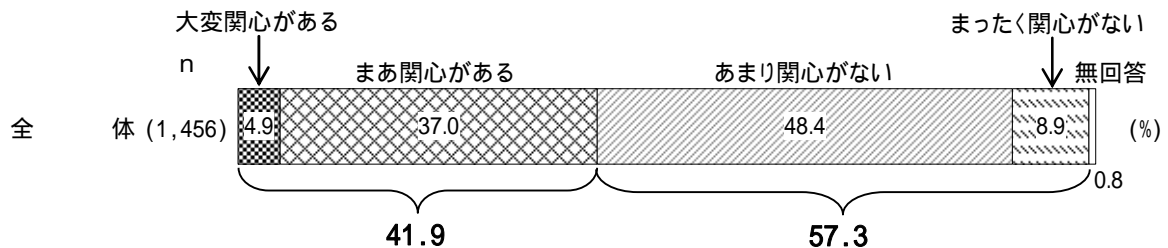
## （12）市民活動団体やボランティア活動の関心度

『関心がある（計）』が4割を超える

問12 あなたは、市民活動団体の活動や、ボランティア活動に関心がありますか。（ は1つ）

ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

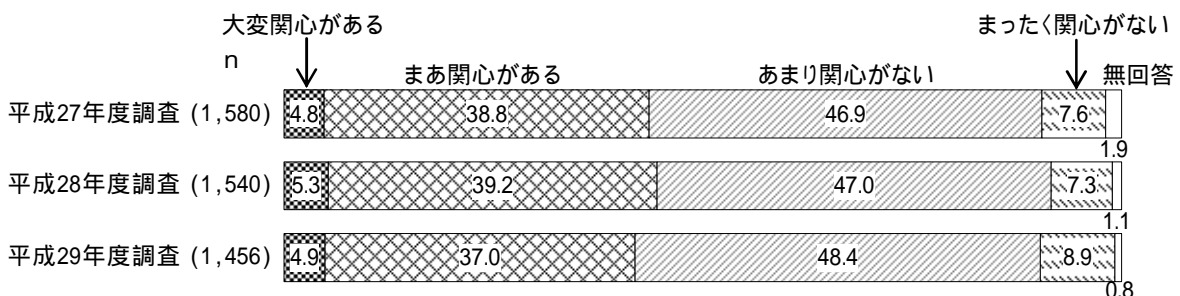
<図表1-28> 市民活動団体やボランティア活動の関心度



市民活動団体の活動や、ボランティア活動の関心度を聞いたところ、「大変関心がある」（4.9%）と「まあ関心がある」（37.0%）を合わせた『関心がある（計）』（41.9%）が4割を超えている。

一方、「あまり関心がない」（48.4%）と「まったく関心がない」（8.9%）を合わせた『関心がない（計）』（57.3%）は約6割となっている。（図表1-28）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



### 【地域別】

地域別にみると、『関心がある（計）』は“夷隅地域”（56.0%）が5割台半ばで高くなっている。（図表1-29）

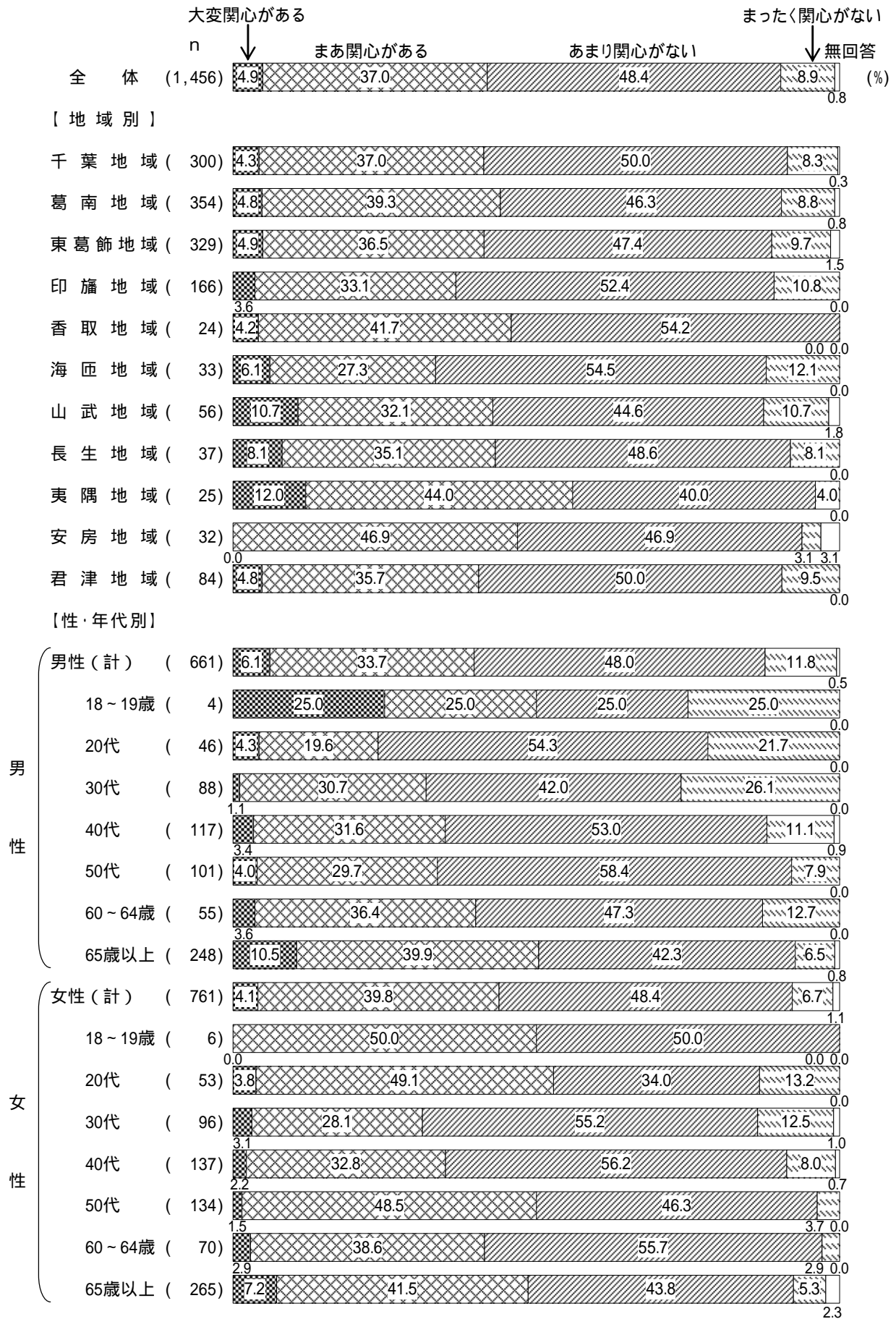
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある（計）』は女性の20代（52.9%）が5割を超え、男性の65歳以上（50.4%）と女性の50代（50.0%）が5割で高くなっている。

一方、『関心がない（計）』は男性の20代（76.0%）が7割台半ば、男性の30代（68.1%）と女性の30代（67.7%）が約7割で高くなっている。（図表1-29）



<図表1 - 29> 市民活動団体やボランティア活動の関心度 / 地域別、性・年代別



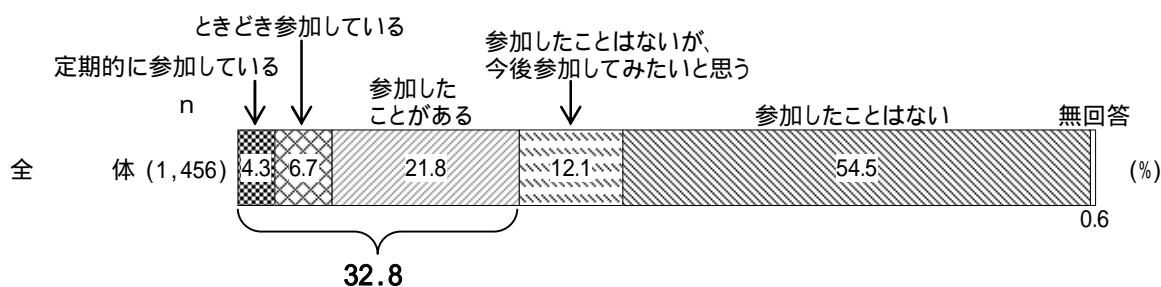
### (13) 市民活動団体の活動への参加経験

『参加したことがある（計）』が3割を超える

問13 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。（ は1つ）

ここでいう「参加」とは、団体の会員やボランティアとしての参加のみならず、団体への資金・物品・技術・場所等の提供・寄付などの支援を通しての参加や、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加なども含みます。

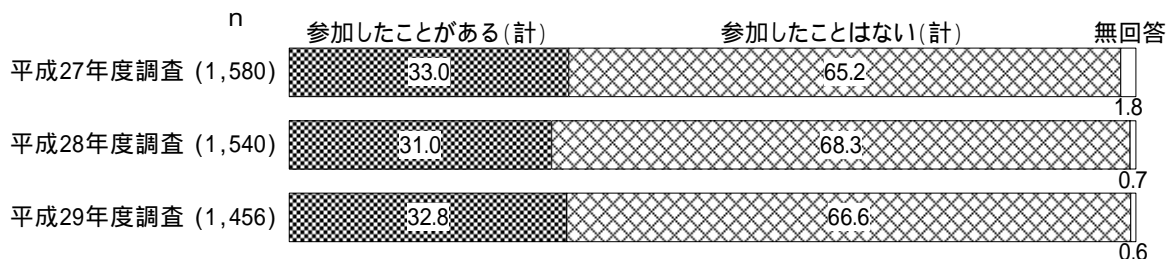
<図表1 - 30> 市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」（4.3%）と「ときどき参加している」（6.7%）、「参加したことがある」（21.8%）の3つを合わせた『参加したことがある（計）』（32.8%）が3割を超えている。

一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」（12.1%）は1割を超えており、「参加したことはない」（54.5%）は5割台半ばとなっている。（図表1 - 30）

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



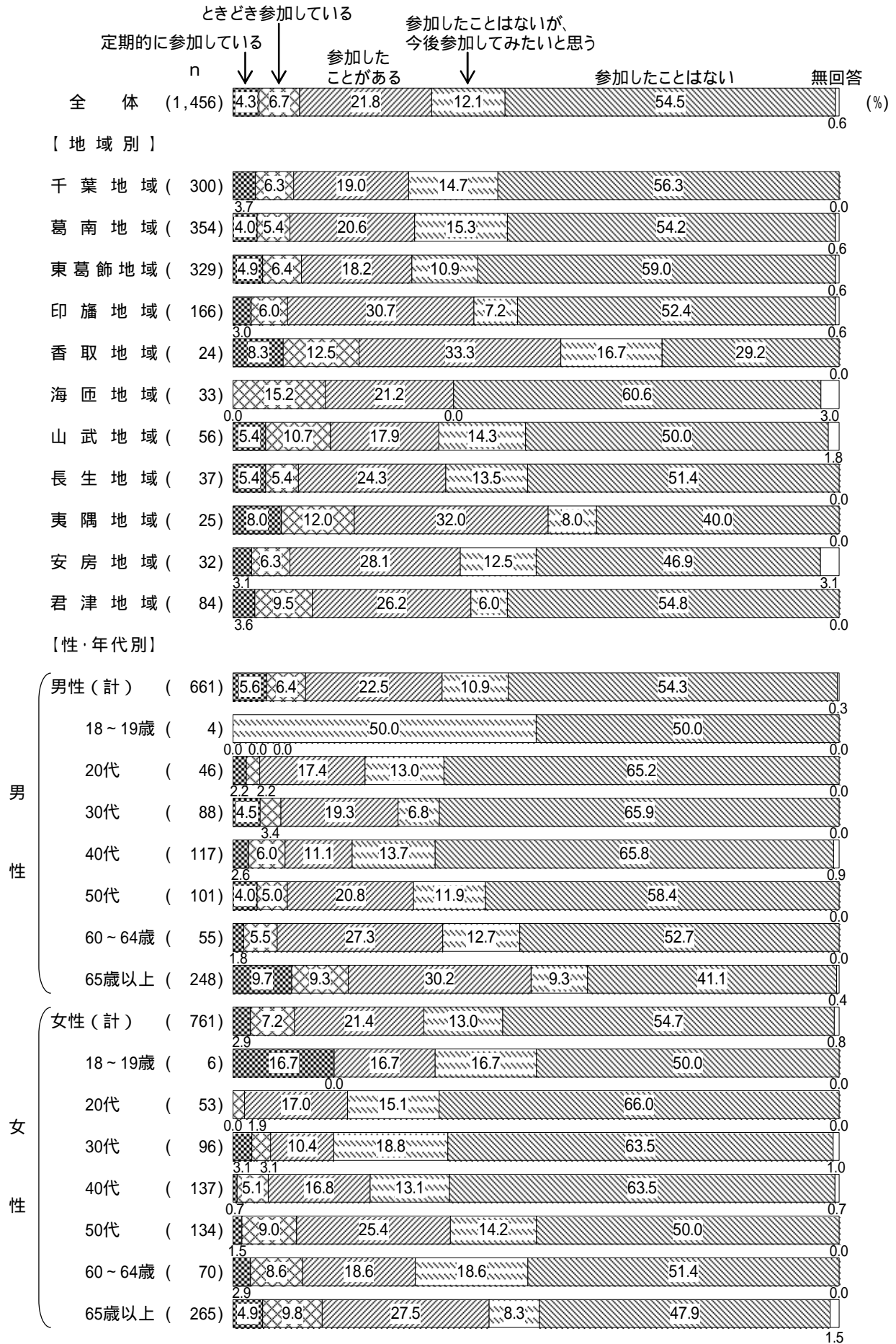
#### 【地域別】

地域別にみると、『参加したことがある（計）』は“香取地域”（54.1%）が5割台半ば、“夷隅地域”（52.0%）が5割を超えて高くなっている。（図表1 - 31）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加したことがある（計）』は男性の65歳以上（49.2%）が約5割、女性の65歳以上（42.2%）が4割を超えて高くなっている。（図表1 - 31）

<図表1 - 31> 市民活動団体の活動への参加経験 / 地域別、性・年代別



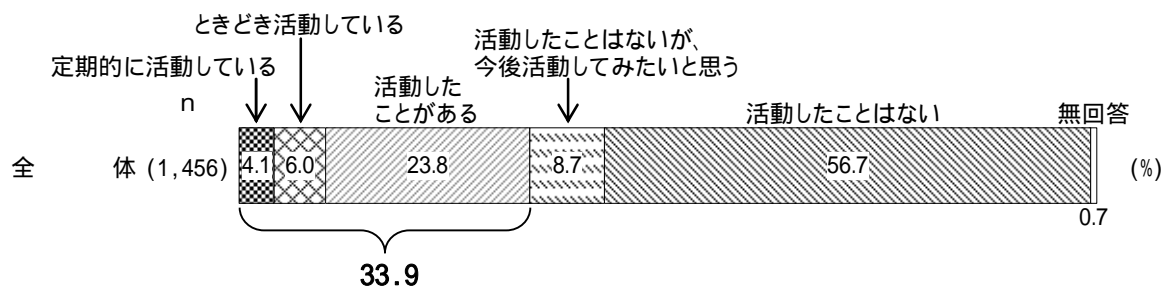
## (14) ボランティア活動経験

『活動したことがある（計）』が3割台半ば

問14 あなたは、ボランティアとして活動したことがありますか。（ は1つ）

ここでいう「ボランティア活動」とは、市民の自発性に基づき地域や社会に貢献する活動のことであり、市民活動団体が行うボランティア活動への参加のみならず、個人として行うものを含むボランティア活動全般を指します。

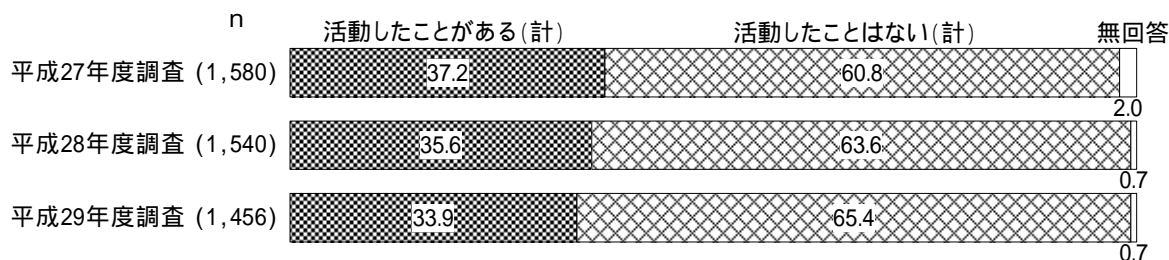
<図表1-32> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるか聞いたところ、「定期的活動している」(4.1%)と「ときどき活動している」(6.0%)、「活動したことがある」(23.8%)の3つを合わせた『活動したことがある(計)』(33.9%)が3割台半ばとなっている。

一方、「活動したことはないが、今後活動してみたいと思う」(8.7%)は約1割、「活動したことはない」(56.7%)は5割台半ばとなっている。(図表1-32)

〔参考〕平成27年度・平成28年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



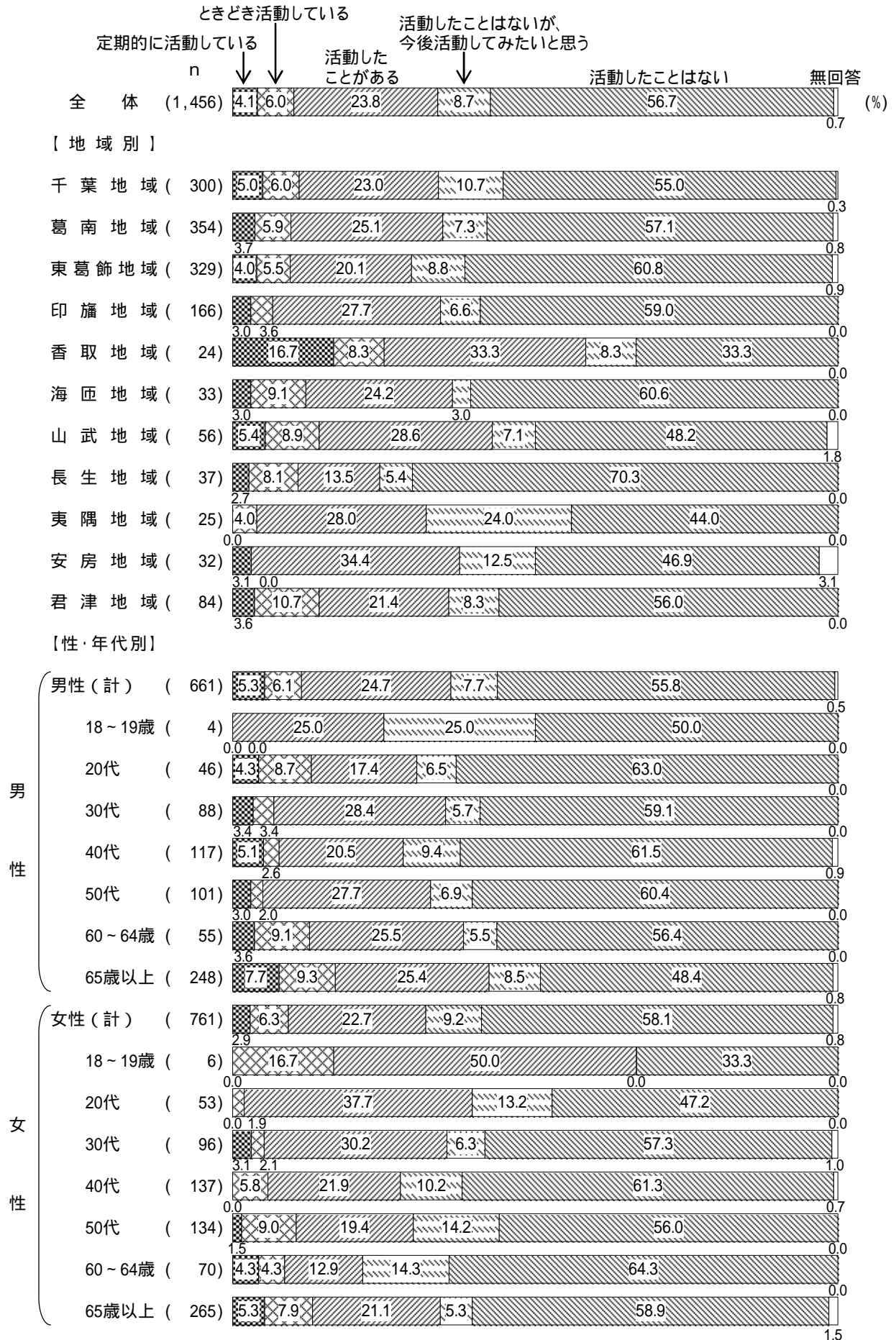
### 【地域別】

地域別にみると、『活動したことがある(計)』は“香取地域”(58.3%)が約6割で高くなっている。(図表1-33)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『活動したことがある(計)』は男性の65歳以上(42.4%)が4割を超えて高くなっている。(図表1-33)

<図表1 - 33> ボランティア活動経験 / 地域別、性・年代別



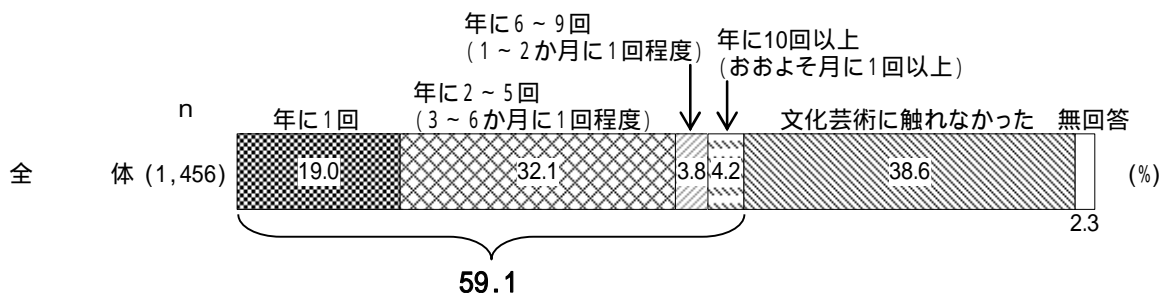
## （15）この1年間の文化芸術に触れた頻度

『触れたことがある（計）』が約6割

問15 あなたは、県内の施設などでこの1年間で何回くらい文化芸術に触れましたか。（は1つ）

ここでいう「文化芸術」とは、映画（アニメ含む）、音楽（クラシックやポップス等）、美術、茶道・華道、芸能、文化財など幅広いジャンルの文化のことで、舞台公演・展覧会等の鑑賞、祭り等への参加、演奏・創作活動、文化財保存活動、史跡めぐりなどです。

<図表1-34> この1年間の文化芸術に触れた頻度



この1年間で何回くらい文化芸術に触れたか聞いたところ、「年に1回」(19.0%)と「年に2～5回(3～6か月に1回程度)」(32.1%)、「年に6～9回(1～2か月に1回程度)」(3.8%)、「年に10回以上(おおよそ月に1回以上)」(4.2%)の4つを合わせた『触れたことがある(計)』(59.1%)は約6割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」(38.6%)は約4割となっている。(図表1-34)

### 【地域別】

地域別にみると、『触れたことがある(計)』は“香取地域”(83.4%)が8割を超えて高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」は“海匠地域”(57.6%)が約6割で高くなっている。

(図表1-35)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『触れたことがある(計)』は女性の30代(73.0%)が7割を超え、女性の20代(67.9%)、60～64歳(67.1%)が約7割で高くなっている。

一方、「文化芸術に触れなかった」は男性の40代(53.8%)が5割台半ばで高くなっている。

(図表1-35)

<図表1 - 35> この1年間の文化芸術に触れた頻度 / 地域別、性・年代別

